

医療機関名	公立学校共済組合四国中央病院
施設基本情報	
所在地	愛媛県四国中央市川之江町2233
病床数	275床(一般:229床)
がん診療連携推進病院指定日	2011年11月1日
データ収集期間	2023.01.01～2023.12.31(2023年診断症例)
平均在院日数	14.2日
入院患者のべ数	50,853人
外来患者のべ数	99,065人
院内がん登録件数	424件
院内がん登録件数 上位3部位 (症例区分 80を含む)	肺:75件 乳房:51件 大腸:48件
実務者のうち「院内がん登録実務研修」修了者	初級者1名、中級者1名(2024年1月現在)
診療科	内科(一般内科/総合内科) 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科 代謝・内分泌内科 心療内科/精神科 小児科 外科 小児外科 乳腺・内分泌外科 緩和ケア外科 整形外科 形成外科/皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 放射線科 リハビリテーション科 麻酔科 脳神経外科 【全23科】(2024年1月現在)
担当医療圏： 宇摩医療圏	
	
担当医療圏における患者住所の割合： 89.4%	
県内担当医医療圏外の割合： 2.1%	
県外患者住所の割合： 8.5%	

公立学校共済組合四国中央病院は、平成23年に愛媛県がん診療連携推進病院に指定されました。同時に、院内がん診療支援センターを立ち上げ、がん登録も開始しました。

宇摩医療圏において、手術療法、化学療法および放射線療法を含めた集学的治療を行いうる唯一の病院として、がん診療の中核病院としての役割を果たしており、現在、5大がんおよび婦人科がん（子宮がん、卵巣がん）など、血液がんを除くほぼ全てのがんに対して標準的治療が行われています。

当院の特徴としては、大腸がん、胃がんなどの消化器がんの症例数が多いことがあげられます。これは、人間ドックを持つ病院という関係から、消化器内視鏡検査数が県下有数であることに起因しています。

平成29年4月に呼吸器内科医が赴任し、肺がん患者が大幅に増え、2022年診断では肺がんが、最も多い登録数となっております。複数の常勤呼吸器内科医がいる病院として、肺がんに関しては東予、西讃地区の中核的役割を担わなければいけないと考えています。

また本院では、外科・産婦人科の複数の医師がマンモグラフィおよび乳腺超音波の両方の読影資格を持っており、女性特有のがんである子宮がん・乳がんの同時検診が可能です。この女性が受診しやすい体制が、乳がんの発見率の増加につながっていると考えています。その他徳島大学の支援のもと検診から治療まで高度な診療を行っています。

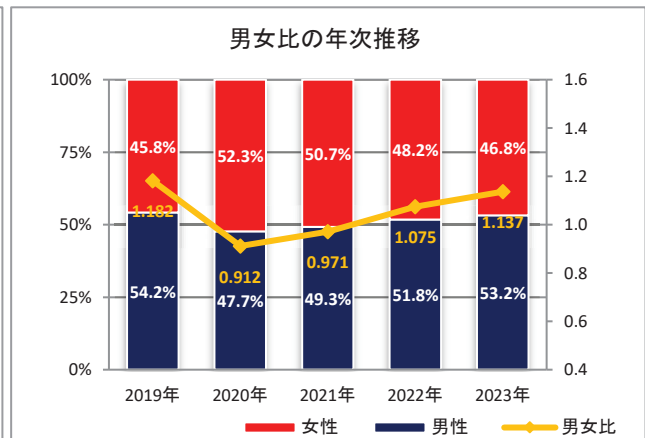
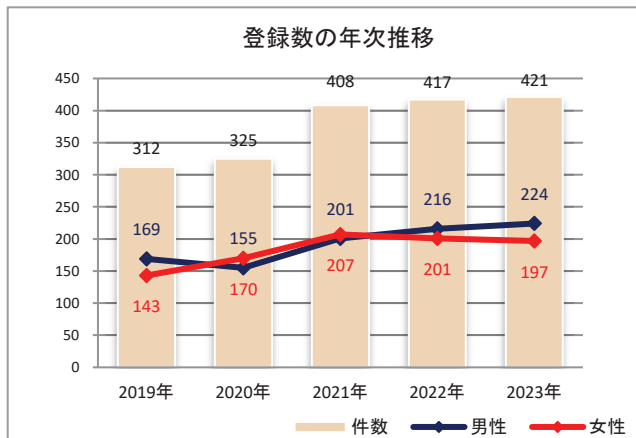
公立学校共済組合四国中央病院 病院長 北川 哲也

1. 年次推移と部位別登録数

1-1. 登録数の年次推移

診断年	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年	
【症例区分8,80を含む】	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
全体	312		326		410		419		424	
男性	169	(54.2%)	156	(47.9%)	202	(49.3%)	217	(51.8%)	226	(53.3%)
女性	143	(45.8%)	170	(52.1%)	208	(50.7%)	202	(48.2%)	198	(46.7%)
全体	312		325		408		417		421	
男性	169	(54.2%)	155	(47.7%)	201	(49.3%)	216	(51.8%)	224	(53.2%)
女性	143	(45.8%)	170	(52.3%)	207	(50.7%)	201	(48.2%)	197	(46.8%)
男女比	1.182		0.912		0.971		1.075		1.137	

*男女比は女性を1としたときの男性の比率



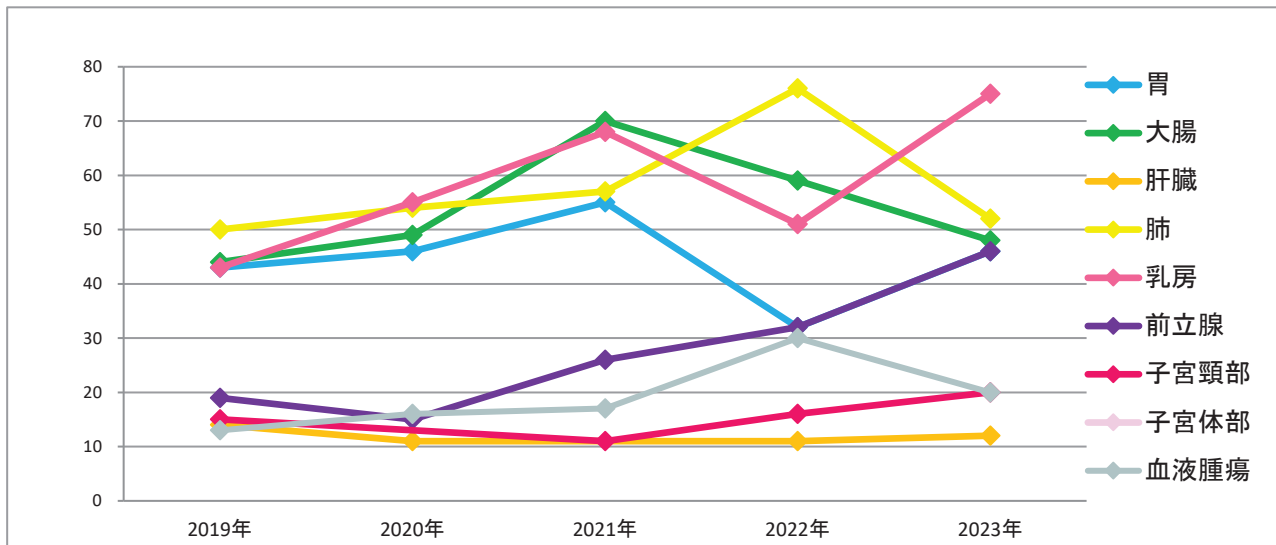
1-2. 登録数の年次推移(部位別)

診断年	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
口腔・咽頭	(4~6)	--	(1~3)	--	(1~3)	--	(4~6)	--	(4~6)	--
食道	(7~9)	--	(1~3)	--	13	(3.2%)	(7~9)	--	(7~9)	--
胃	43	(13.8%)	46	(14.2%)	55	(13.5%)	32	(7.7%)	46	(10.9%)
結腸	29	(9.3%)	35	(10.8%)	39	(9.6%)	39	(9.4%)	32	(7.6%)
直腸	15	(4.8%)	14	(4.3%)	31	(7.6%)	20	(4.8%)	16	(3.8%)
肝臓	14	(4.5%)	11	(3.4%)	(7~9)	--	11	(2.6%)	12	(2.9%)
胆嚢・胆管	14	(4.5%)	(7~9)	--	(4~6)	--	(4~6)	--	11	(2.6%)
膵臓	10	(3.2%)	(4~6)	--	15	(3.7%)	11	(2.6%)	11	(2.6%)
喉頭	0	--	0	--	(1~3)	--	(1~3)	--	(1~3)	--
肺	50	(16.0%)	54	(16.6%)	57	(14.0%)	76	(18.2%)	52	(12.4%)
骨・軟部	(1~3)	--	(1~3)	--	(1~3)	--	(1~3)	--	(1~3)	--
皮膚(黒色腫を含む)	(4~6)	--	12	(3.7%)	14	(3.4%)	12	(2.9%)	15	(3.6%)
乳房	43	(13.8%)	55	(16.9%)	68	(16.7%)	51	(12.2%)	75	(17.8%)
子宮頸部	15	(4.8%)	(7~9)	--	11	(2.7%)	16	(3.8%)	20	(4.8%)
子宮体部	(1~3)	--	(7~9)	--	(4~6)	--	(7~9)	--	(7~9)	--
子宮	0	--	0	--	0	--	(1~3)	--	0	--
卵巣	(4~6)	--	(1~3)	--	(4~6)	--	(7~9)	--	(1~3)	--
前立腺	19	(6.1%)	15	(4.6%)	26	(6.4%)	32	(7.7%)	46	(10.9%)
膀胱	(4~6)	--	(7~9)	--	13	(3.2%)	13	(3.1%)	(7~9)	--
腎・他の尿路	(1~3)	--	(7~9)	--	(7~9)	--	11	(2.6%)	(7~9)	--
脳・中枢神経系	(1~3)	--	(1~3)	--	0	--	(1~3)	--	0	--
甲状腺	(4~6)	--	(7~9)	--	(4~6)	--	17	(4.1%)	(7~9)	--
悪性リンパ腫	(7~9)	--	(7~9)	--	11	(2.7%)	17	(4.1%)	11	(2.6%)
多発性骨髄腫	(1~3)	--	0	--	(1~3)	--	(1~3)	--	(4~6)	--
白血病	(1~3)	--	(1~3)	--	(1~3)	--	(4~6)	--	(4~6)	--
他の造血器腫瘍	(1~3)	--	(4~6)	--	(1~3)	--	(4~6)	--	(1~3)	--
その他	10	(3.2%)	(4~6)	--	(7~9)	--	(4~6)	--	15	(3.6%)
合計	312		325		408		417		421	

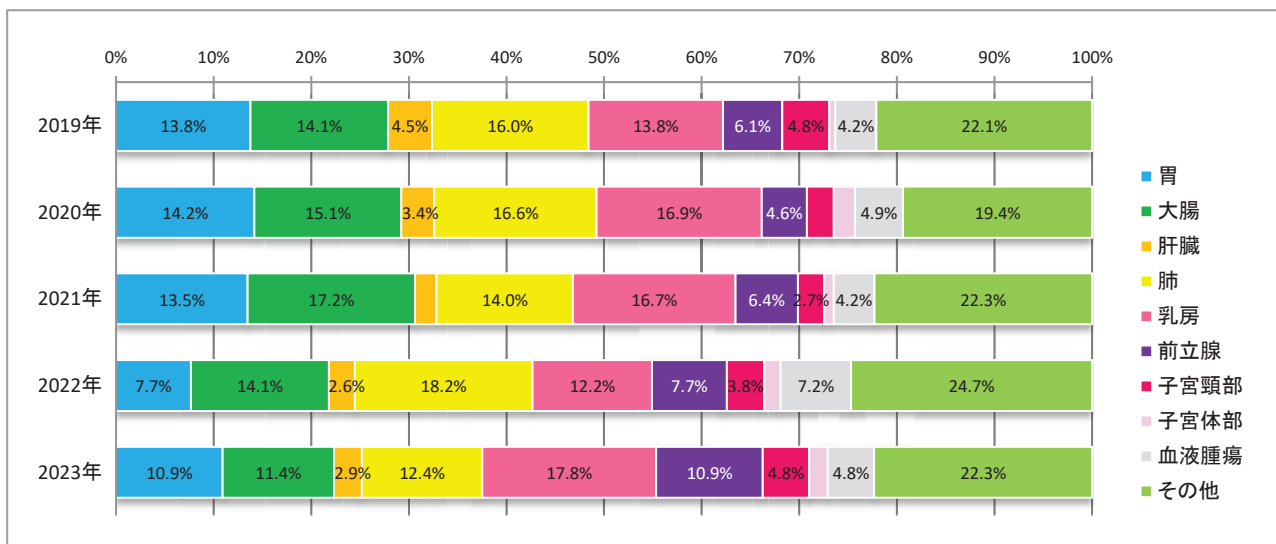
*説明ポイント① 過去最高の登録件数となった

*説明ポイント② 『部位別登録数』では、乳癌75件が最も多く、次いで昨年最も多かった肺癌が52件となっている。

1-3. 部位別登録数の推移

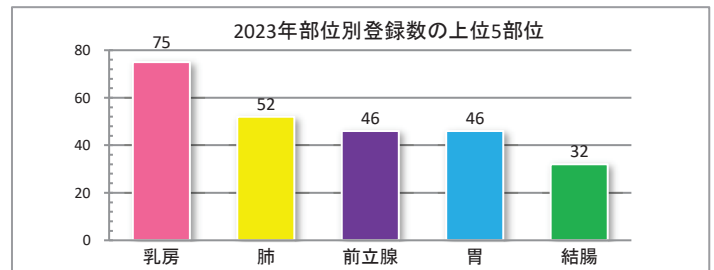


1-4. 登録数の部位別の割合



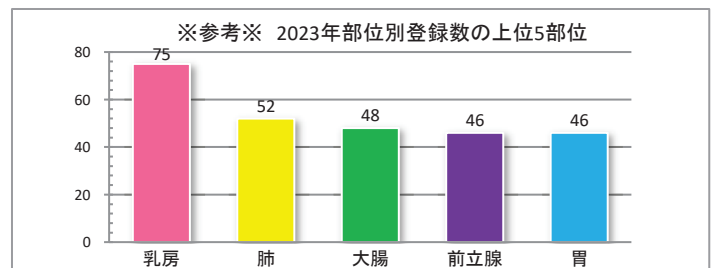
1-5. 部位別登録数の上位5部位

順位	2022年		2023年	
	部位名	件数	部位名	件数
1	肺	76	乳房	75
2	乳房	51	肺	52
3	結腸	39	前立腺	46
4	胃	32	胃	46
5	胃	32	結腸	32



※参考※ 結腸・直腸の合計を『大腸』、子宮頸部・子宮体部・子宮NOSの合計を『子宮』、悪性リンパ腫・多発性骨髄腫・白血病・他の血液腫瘍の合計を『血液腫瘍』としてまとめた場合の上位5部位

順位	2022年		2023年	
	部位名	件数	部位名	件数
1	肺	76	乳房	75
2	大腸	59	肺	52
3	乳房	51	大腸	48
4	胃	32	前立腺	46
5	胃	32	胃	46

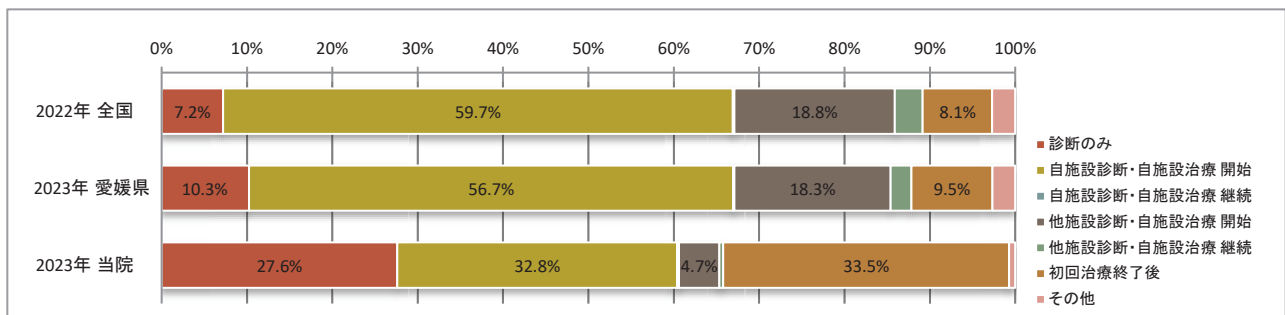


2. 症例区分

2-1. 症例区分(症例区分80を含む)

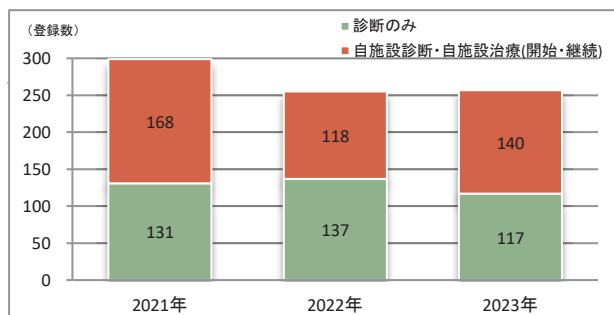
診断年	2021年		2022年		2023年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
診断のみ	131	(32.0%)	137	(32.7%)	117	(27.6%)
自施設診断・自施設治療 開始	168	(41.0%)	118	(28.2%)	139	(32.8%)
自施設診断・自施設治療 継続	0	—	0	—	(1~3)	—
他施設診断・自施設治療 開始	11	(2.7%)	(7~9)	—	20	(4.7%)
他施設診断・自施設治療 継続	(4~6)	—	(1~3)	—	(1~3)	—
初回治療終了後	93	(22.7%)	152	(36.3%)	142	(33.5%)
その他	(1~3)	—	(1~3)	—	(1~3)	—

2-2. 症例区分 愛媛県全体・全国値との比較(症例区分80を含む)



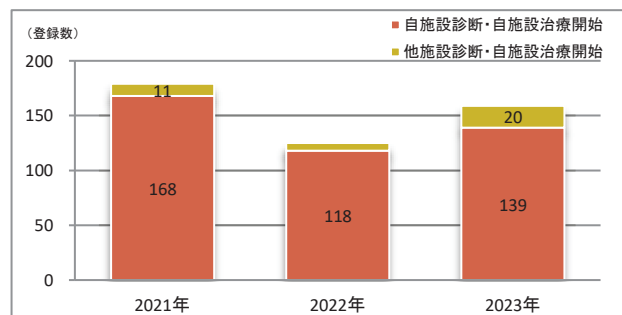
2-3. 自施設でがんを診断した症例の年次推移

(診断のみ、自施設診断・自施設治療開始、自施設診断・自施設治療継続)



2-4. 自施設初回治療開始症例の年次推移

(自施設診断・自施設治療開始、他施設診断・自施設治療開始)



2-5. 2023年診断の症例区分の診断施設・治療施設マトリクス(症例区分80を含む)

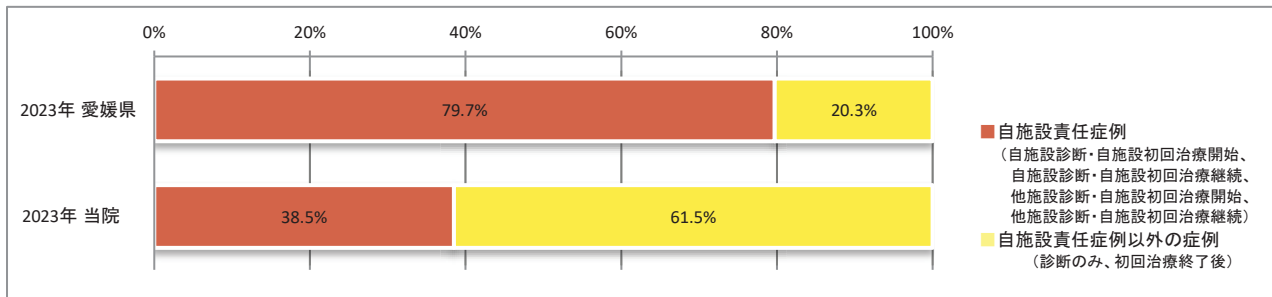
診断施設 \ 治療施設	自施設診断 (当該腫瘍について“がん”と診断された最も確かと考えられる検査が自施設初診後に行われた症例)	他施設診断 (当該腫瘍について“がん”と診断された最も確かと考えられる検査が自施設初診前にすでに行われていた症例)
自施設で初回治療せず	<診断のみ> 117	<その他> (1~3)
自施設で初回治療開始	<自施設診断・自施設治療開始> 139	<他施設診断・自施設治療開始> 20
初回治療継続	<自施設診断・自施設治療継続> (1~3)	<他施設診断・自施設治療継続> (1~3)
初回治療終了後	<初回治療終了後> 0	<初回治療終了後、その他> 142
その他	<その他> 0	<その他> 0

※表中の<>は診断施設・治療施設から選択される症例区分

*説明ポイント③ 全国・愛媛県と比較して『診断のみ』の割合が高くなっている。

*説明ポイント④ 『自施設責任症例』の割合は、愛媛県と比較しておおきく下回っている。

2-6. 自施設責任症例の割合の比較

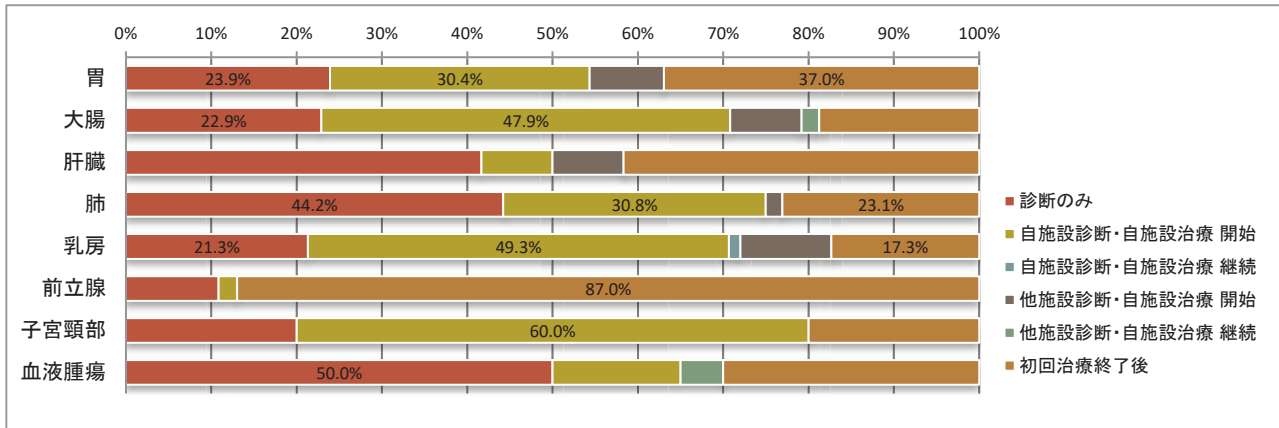


2-7. 症例区分 部位別

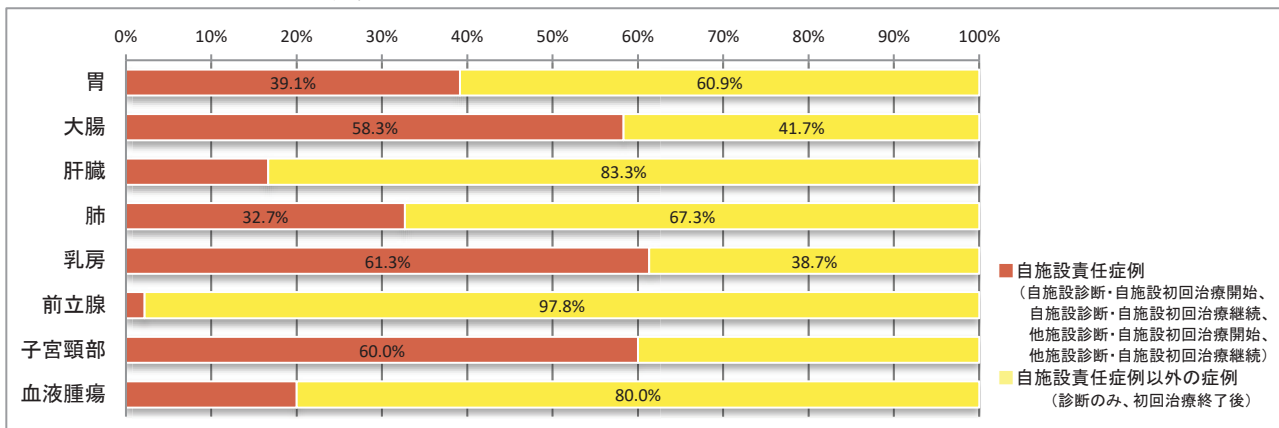
	胃		大腸		肝臓		肺		乳房	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
診断のみ	11	(23.9%)	11	(22.9%)	(4~6)	—	23	(44.2%)	16	(21.3%)
自施設診断・自施設治療 開始	14	(30.4%)	23	(47.9%)	(1~3)	—	16	(30.8%)	37	(49.3%)
自施設診断・自施設治療 継続	0	—	0	—	0	—	0	—	(1~3)	—
他施設診断・自施設治療 開始	(4~6)	—	(4~6)	—	(1~3)	—	(1~3)	—	(7~9)	—
他施設診断・自施設治療 継続	0	—	(1~3)	—	0	—	0	—	0	—
初回治療終了後	17	(37.0%)	(7~9)	—	(4~6)	—	12	(23.1%)	13	(17.3%)

	前立腺		子宮頸部		子宮体部		血液腫瘍	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
診断のみ	(4~6)	—	(4~6)	—	0	—	10	(50.0%)
自施設診断・自施設治療 開始	(1~3)	—	12	(60.0%)	(4~6)	—	(1~3)	—
自施設診断・自施設治療 継続	0	—	0	—	0	—	0	—
他施設診断・自施設治療 開始	0	—	0	—	0	—	0	—
他施設診断・自施設治療 継続	0	—	0	—	0	—	(1~3)	—
初回治療終了後	40	(87.0%)	(4~6)	—	(1~3)	—	(4~6)	—

2-8. 症例区分 部位別の割合



2-9. 症例区分 部位別の責任症例の割合



3. 診断時住所別

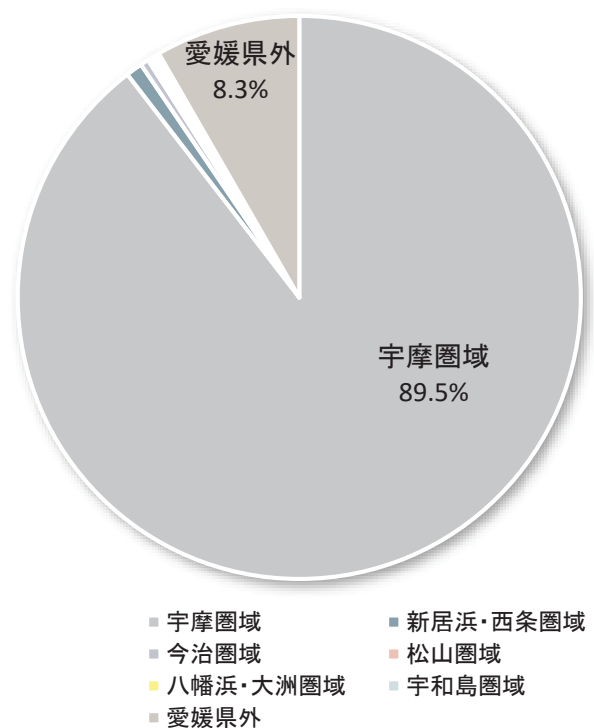
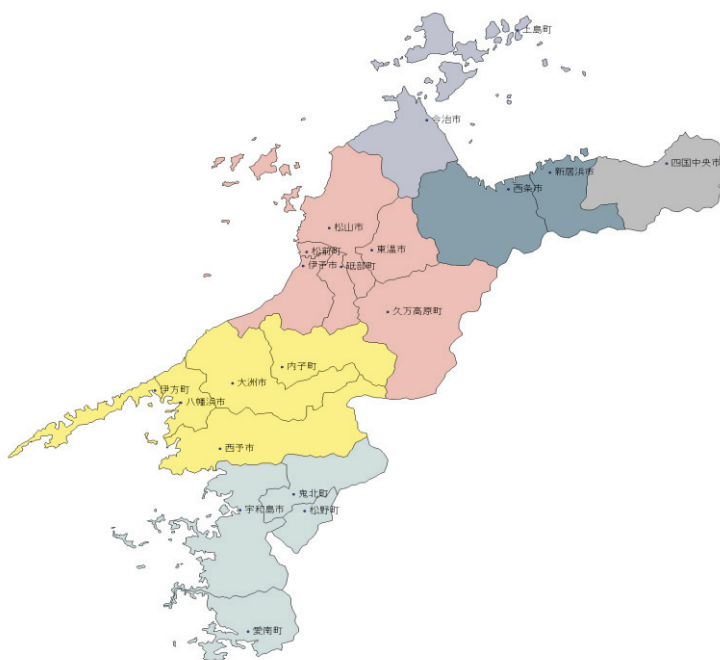
3-1. 診断時住所別

医療圏	登録数 件数	登録割合 (%)	市郡・県外	町村	登録数 件数
宇摩圏域	377	(89.5%)	四国中央市		377
新居浜・西条圏域	(4~6)	(1.0%)	新居浜市 西条市		(4~6) 0
今治圏域	(1~3)	(0.5%)	今治市 越智郡	(上島町)	(1~3) 0
松山圏域	(1~3)	(0.2%)	松山市 伊予市 東温市 上浮穴郡 伊予郡	(久万高原町) (松前町、砥部町)	(1~3) 0 0 0 0
八幡浜・大洲圏域	(1~3)	(0.2%)	八幡浜市 大洲市 西予市 喜多郡 西宇和郡	(内子町) (伊方町)	0 0 0 (1~3) 0
宇和島圏域	(1~3)	(0.2%)	宇和島市 北宇和郡 南宇和郡	(松野町、鬼北町) (愛南町)	(1~3) 0 0
愛媛県外	35	(8.3%)	高知県 香川県 徳島県 その他		0 11 21 (1~3)
				合計(全登録数)	421

担当医療圏

全登録数に占める担当
医療圏の登録数割合
(担当医療圏登録数/全登録数)

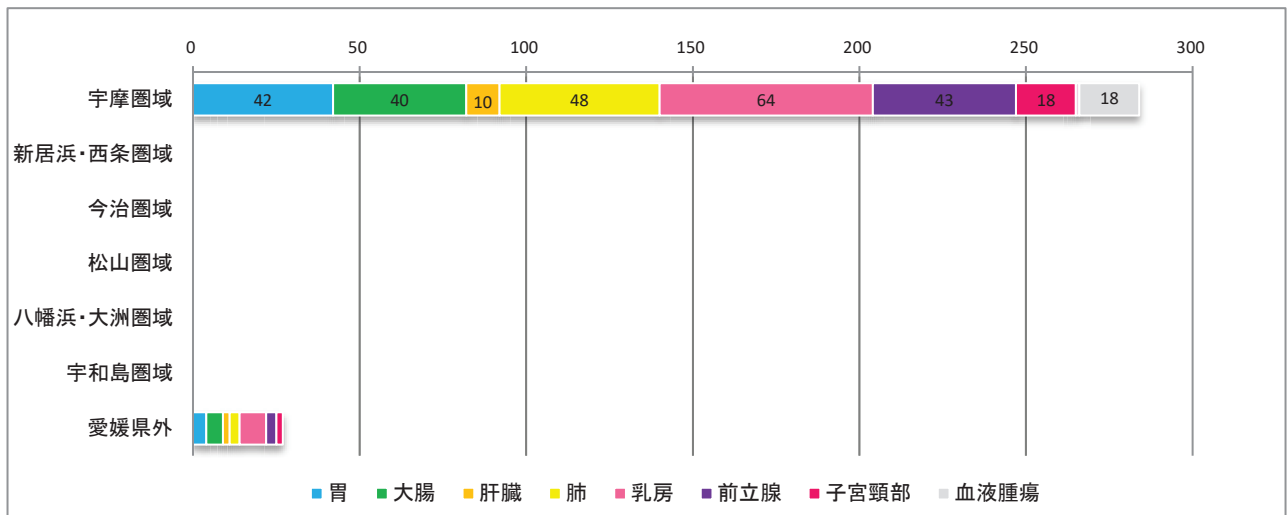
89.5%



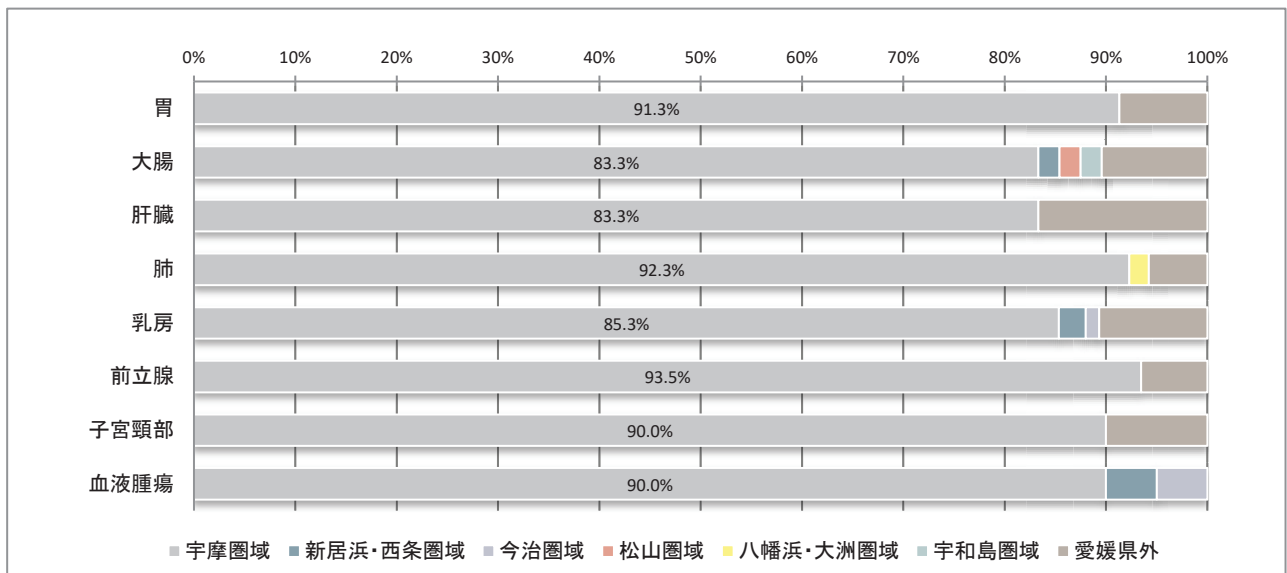
*説明ポイント⑤ 医療圏域別登録件数は、毎年担当の宇摩圏域が90%程度で推移している。

3-2. 診断時住所(医療圏域)別部位別の登録数

医療圏	胃 件数	大腸 件数	肝臓 件数	肺 件数	乳房 件数	前立腺 件数	子宮頸部 件数	子宮体部 件数	血液腫瘍 件数
宇摩圏域	42	40	10	48	64	43	18	(7~9)	18
新居浜・西条圏域	0	(1~3)	0	0	(1~3)	0	0	0	(1~3)
今治圏域	0	0	0	0	(1~3)	0	0	0	(1~3)
松山圏域	0	(1~3)	0	0	0	0	0	0	0
八幡浜・大洲圏域	0	0	0	(1~3)	0	0	0	0	0
宇和島圏域	0	(1~3)	0	0	0	0	0	0	0
愛媛県外	(4~6)	(4~6)	(1~3)	(1~3)	(7~9)	(1~3)	(1~3)	0	0
部位別 合 計	46	48	12	52	75	46	20	(7~9)	20
部位別の登録数に占める 担当医療圏の登録割合 (担当医療圏登録数/登録数)	91.3%	89.6%	83.3%	94.2%	89.3%	93.5%	90.0%	--	100.0%



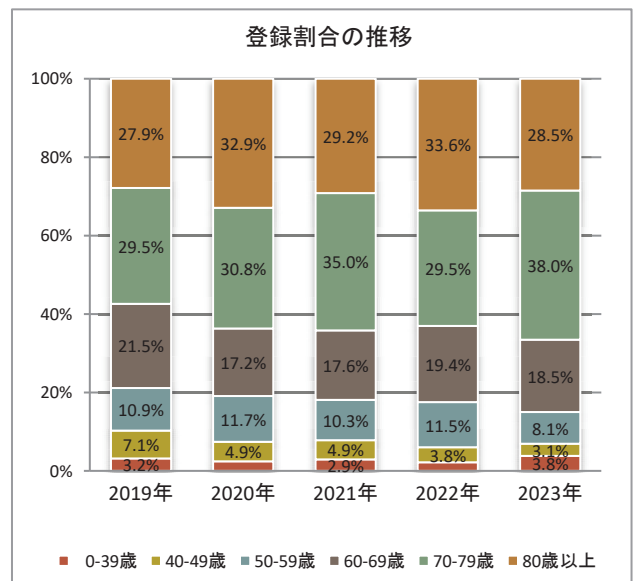
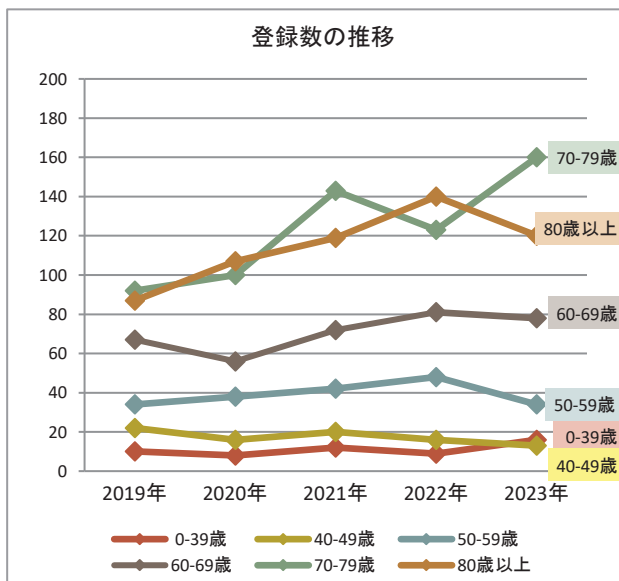
3-3. 部位別医療圏域別の登録割合



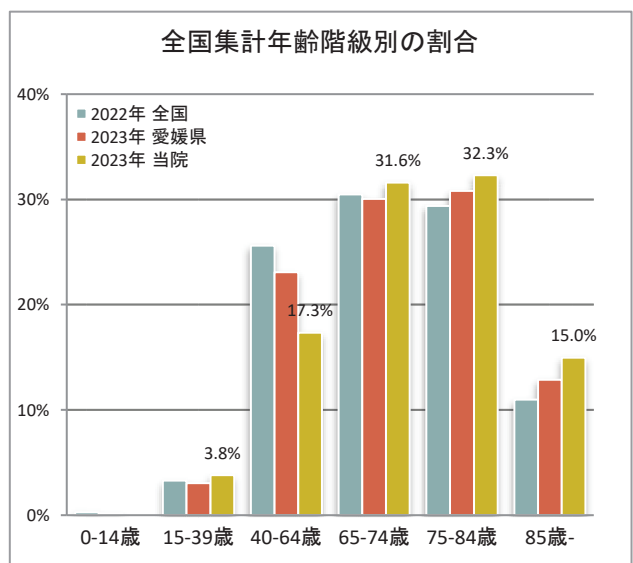
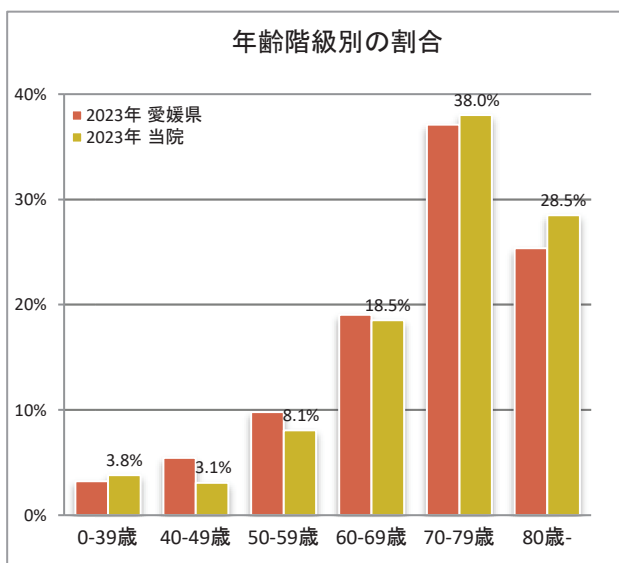
4. 年齢の割合

4-1. 年齢階級別登録数の年次推移

診断年	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
0-39歳	10	(3.2%)	(7~9)	—	12	(2.9%)	(7~9)	—	16	(3.8%)
40-49歳	22	(7.1%)	16	(4.9%)	20	(4.9%)	16	(3.8%)	13	(3.1%)
50-59歳	34	(10.9%)	38	(11.7%)	42	(10.3%)	48	(11.5%)	34	(8.1%)
60-69歳	67	(21.5%)	56	(17.2%)	72	(17.6%)	81	(19.4%)	78	(18.5%)
70-79歳	92	(29.5%)	100	(30.8%)	143	(35.0%)	123	(29.5%)	160	(38.0%)
80歳-	87	(27.9%)	107	(32.9%)	119	(29.2%)	140	(33.6%)	120	(28.5%)



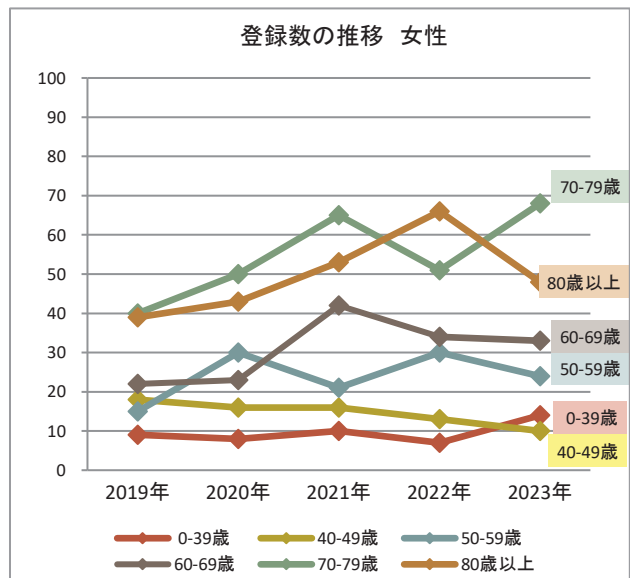
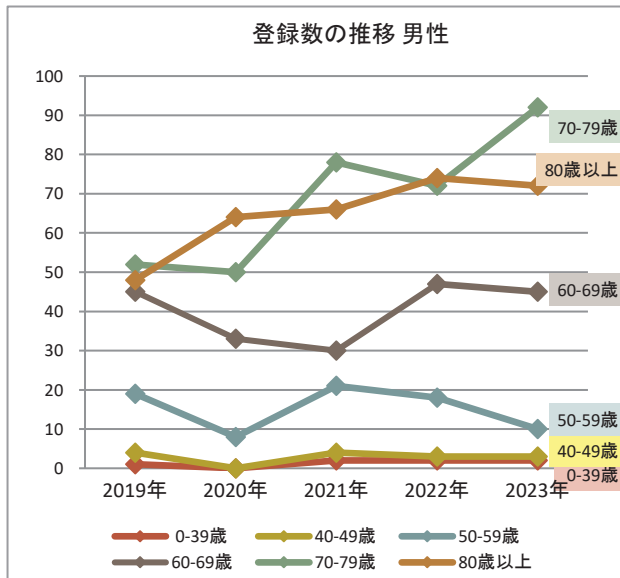
4-2. 年齢階級別登録割合 愛媛県全体・全国値との比較



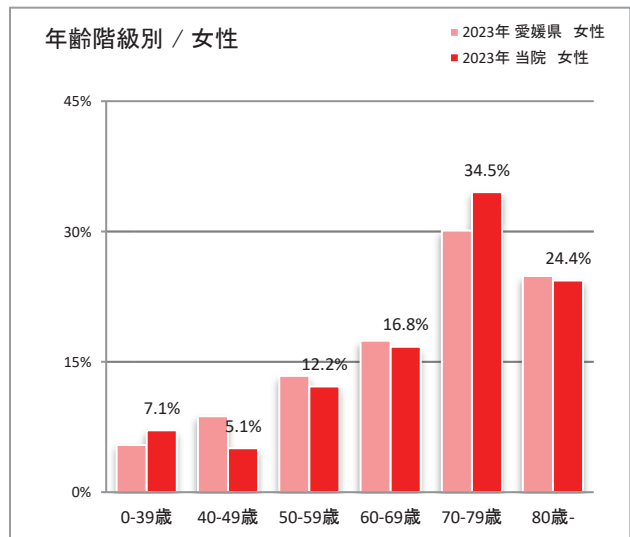
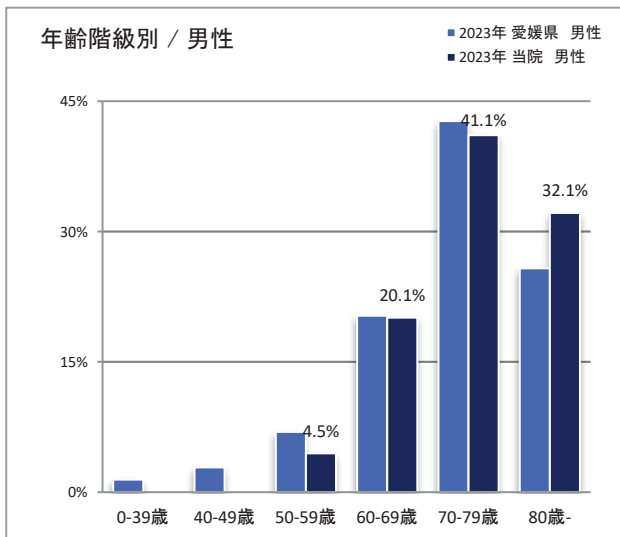
*説明ポイント⑥ 『年齢階級別登録数』では、70歳以上の高齢者が増加している。

4-3. 男女別 年齢階級別登録数の年次推移

診断年	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年	
男性	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
0-39歳	(1~3)	--	0	--	(1~3)	--	(1~3)	--	(1~3)	--
40-49歳	(4~6)	--	0	--	(4~6)	--	(1~3)	--	(1~3)	--
50-59歳	19	(11.2%)	(7~9)	--	21	(10.4%)	18	(8.3%)	10	(4.5%)
60-69歳	45	(26.6%)	33	(21.3%)	30	(14.9%)	47	(21.8%)	45	(20.1%)
70-79歳	52	(30.8%)	50	(32.3%)	78	(38.8%)	72	(33.3%)	92	(41.1%)
80歳-	48	(28.4%)	64	(41.3%)	66	(32.8%)	74	(34.3%)	72	(32.1%)
女性	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
0-39歳	(7~9)	--	(7~9)	--	10	(4.8%)	(7~9)	--	14	(7.1%)
40-49歳	18	(12.6%)	16	(9.4%)	16	(7.7%)	13	(6.5%)	10	(5.1%)
50-59歳	15	(10.5%)	30	(17.6%)	21	(10.1%)	30	(14.9%)	24	(12.2%)
60-69歳	22	(15.4%)	23	(13.5%)	42	(20.3%)	34	(16.9%)	33	(16.8%)
70-79歳	40	(28.0%)	50	(29.4%)	65	(31.4%)	51	(25.4%)	68	(34.5%)
80歳-	39	(27.3%)	43	(25.3%)	53	(25.6%)	66	(32.8%)	48	(24.4%)



4-4. 男女別 年齢階級別登録割合 愛媛県全体との比較

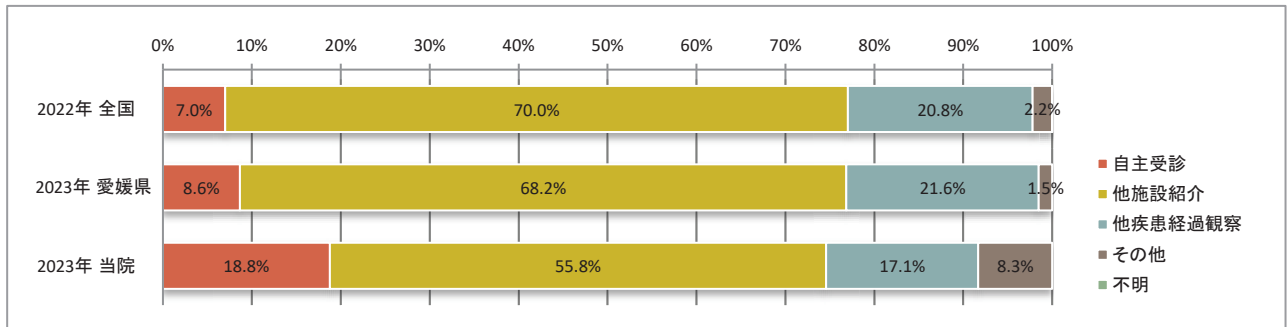


5. 来院経路

5-1. 来院経路

診断年	2021年		2022年		2023年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
自主受診	85	(20.8%)	92	(22.1%)	79	(18.8%)
他施設紹介	222	(54.4%)	220	(52.8%)	235	(55.8%)
他疾患経過観察	75	(18.4%)	68	(16.3%)	72	(17.1%)
その他	26	(6.4%)	37	(8.9%)	35	(8.3%)
不明	0	--	0	--	0	--

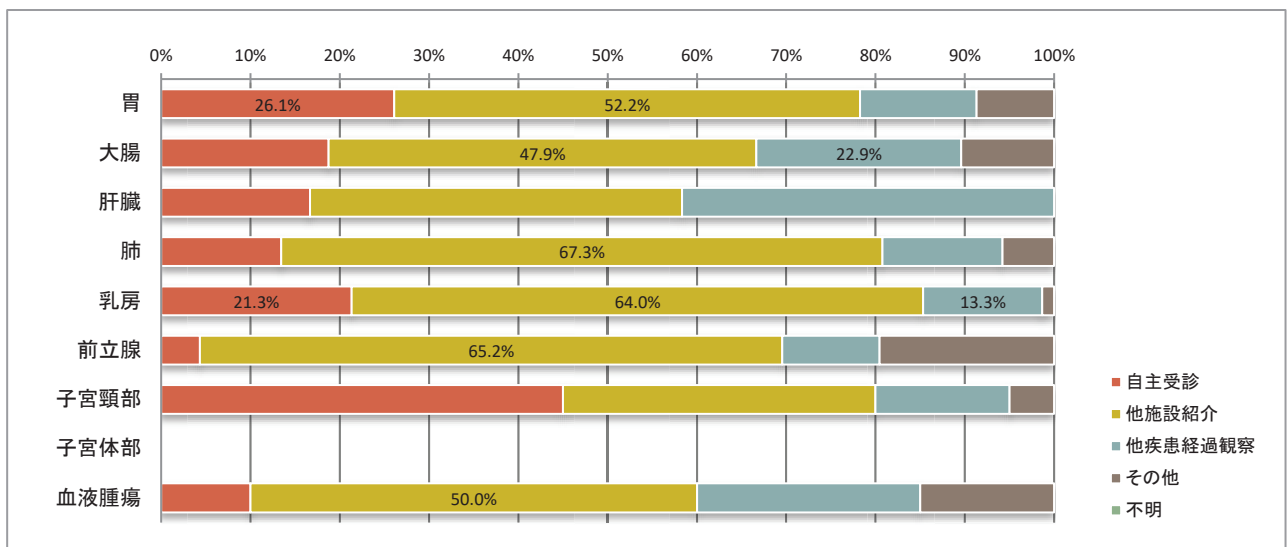
5-2. 来院経路 愛媛県全体・全国値との比較



5-3. 来院経路 部位別

	胃		大腸		肝臓		肺		乳房	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
自主受診	12	(26.1%)	(7~9)	--	(1~3)	--	(7~9)	--	16	(21.3%)
他施設紹介	24	(52.2%)	23	(47.9%)	(4~6)	--	35	(67.3%)	48	(64.0%)
他疾患経過観察	(4~6)	--	11	(22.9%)	(4~6)	--	(7~9)	--	10	(13.3%)
その他	(4~6)	--	(4~6)	--	0	--	(1~3)	--	(1~3)	--
不明	0	--	0	--	0	--	0	--	0	--

	前立腺		子宮頸部		子宮体部		血液腫瘍	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
自主受診	(1~3)	--	(7~9)	--	(1~3)	--	(1~3)	--
他施設紹介	30	(65.2%)	(7~9)	--	(4~6)	--	10	(50.0%)
他疾患経過観察	(4~6)	--	(1~3)	--	0	--	(4~6)	--
その他	(7~9)	--	(1~3)	--	0	--	(1~3)	--
不明	0	--	0	--	0	--	0	--



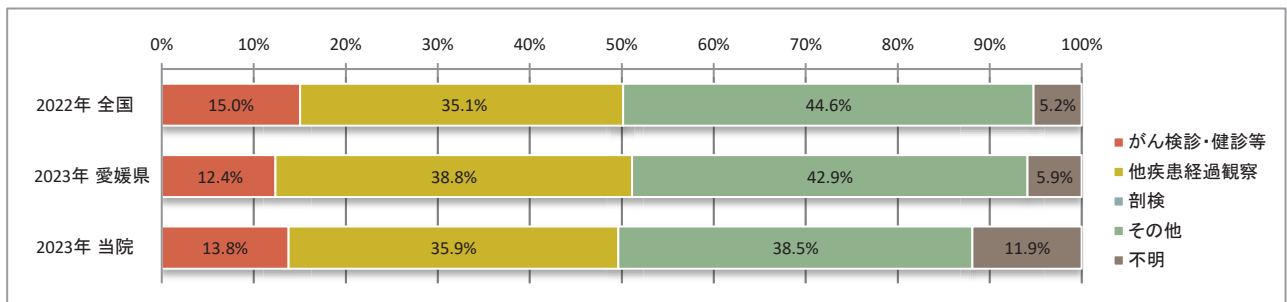
*説明ポイント⑦ 全国・愛媛県と比較して『自主受診』の割合が高くなっている。

6. 発見経緯

6-1. 発見経緯

診断年	2021年		2022年		2023年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
がん検診・健康診断・人間ドック	51	(12.5%)	59	(14.1%)	58	(13.8%)
他疾患経過観察	144	(35.3%)	121	(29.0%)	151	(35.9%)
剖検発見	0	--	0	--	0	--
その他	159	(39.0%)	128	(30.7%)	162	(38.5%)
不明	54	(13.2%)	109	(26.1%)	50	(11.9%)

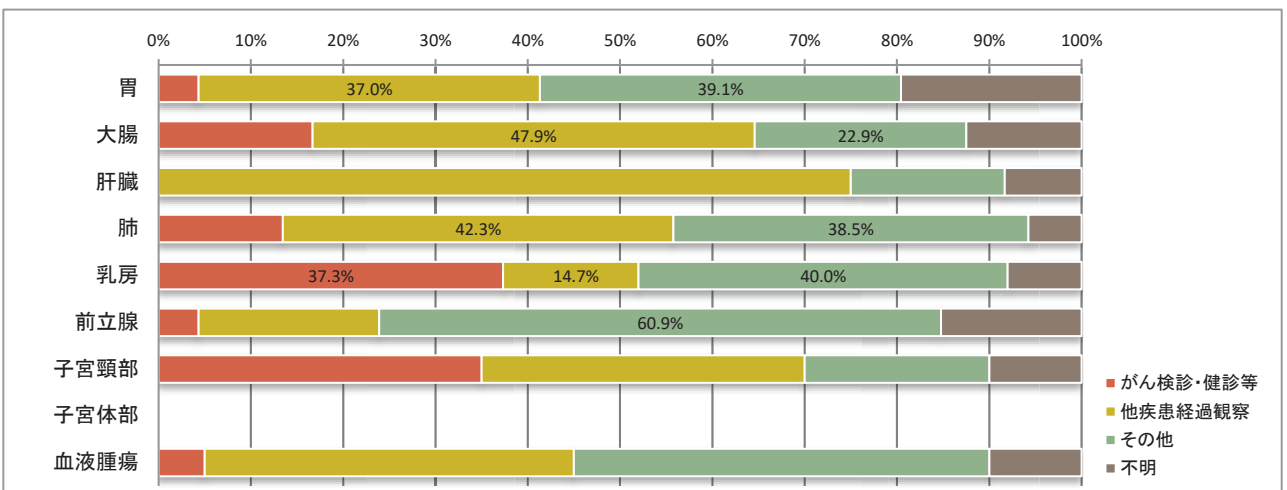
6-2. 発見経緯 愛媛県全体・全国値との比較



6-3. 発見経緯 部位別

	胃		大腸		肝臓		肺		乳房	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
がん検診・健康診断・人間ドック	(1~3)	--	(7~9)	--	0	--	(7~9)	--	28	(37.3%)
他疾患経過観察	17	(37.0%)	23	(47.9%)	(7~9)	--	22	(42.3%)	11	(14.7%)
剖検発見	0	--	0	--	0	--	0	--	0	--
その他	18	(39.1%)	11	(22.9%)	(1~3)	--	20	(38.5%)	30	(40.0%)
不明	(7~9)	--	(4~6)	--	(1~3)	--	(1~3)	--	(4~6)	--

	前立腺		子宮頸部		子宮体部		血液腫瘍	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
がん検診・健康診断・人間ドック	(1~3)	--	(7~9)	--	(1~3)	--	(1~3)	--
他疾患経過観察	(7~9)	--	(7~9)	--	(1~3)	--	(7~9)	--
剖検発見	0	--	0	--	0	--	0	--
その他	28	(60.9%)	(4~6)	--	(4~6)	--	(7~9)	--
不明	(7~9)	--	(1~3)	--	(1~3)	--	(1~3)	--

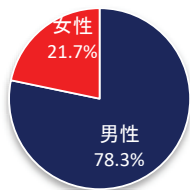


*説明ポイント⑧ 『発見経緯』については、全国や愛媛県との比較で同等程度の割合となっている。

7-1. 部位別：胃

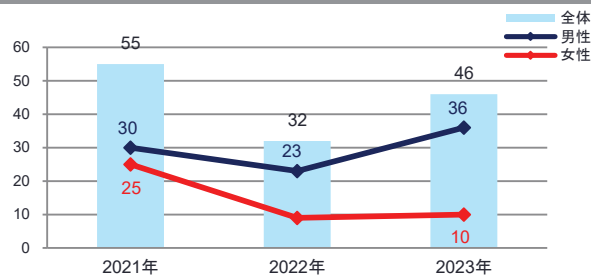
1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	46
男性	36
女性	10

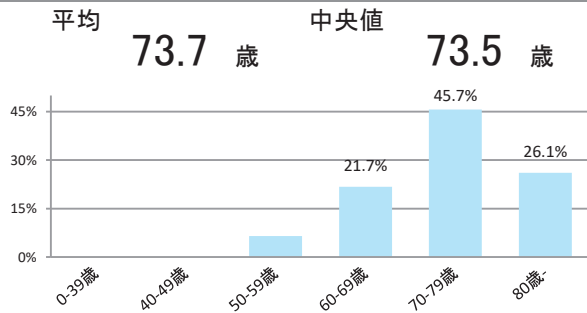


当院全登録数に占める胃がんの割合 **10.9%**

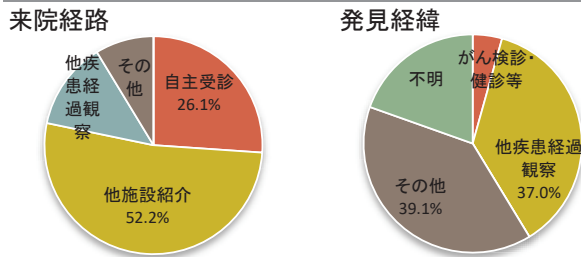
2. 登録数の年次推移



3. 年齢

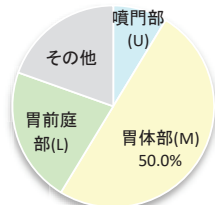


4. 来院経路と発見経緯

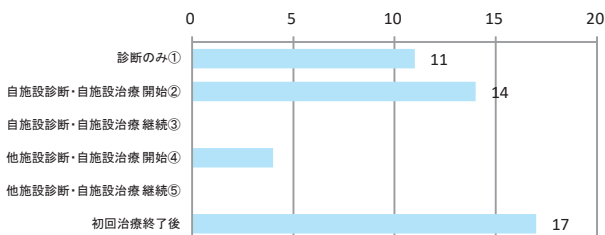


5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数	局在コード	部位名	登録数
C16.0	噴門	(4~6)	C16.5	胃小彎	0
C16.1	胃底部	0	C16.6	胃大彎	0
C16.2	胃体部	23	C16.8	胃の境界部	0
C16.3	胃前庭部	(7~9)	C16.9	胃NOS	(7~9)
C16.4	幽門	(1~3)			



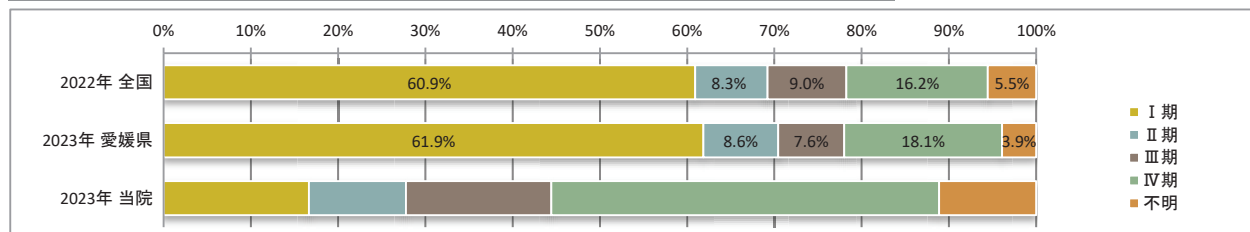
6. 症例区分



	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	18	39.1%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	25	54.3%

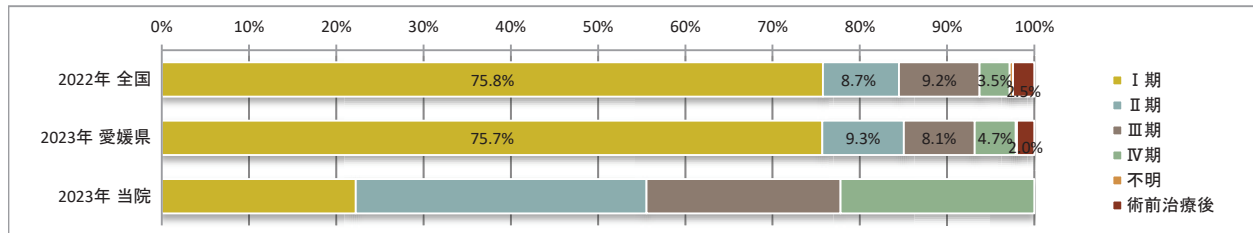
7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数		(1~3)	(1~3)	(1~3)	(7~9)	(1~3)	18
割合		--	--	--	--	--	



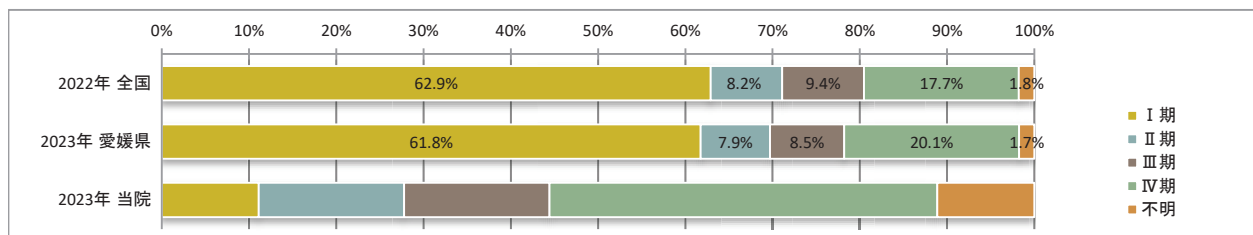
8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	術前治療後
件数		(1~3)	(1~3)	(1~3)	(1~3)	0	0
割合		--	--	--	--	--	--
	(他)0期	(他)I期	(他)II期	(他)III期	(他)IV期	(他)不明	合計
件数	0	0	0	0	0	0	(7~9)
割合	--	--	--	--	--	--	



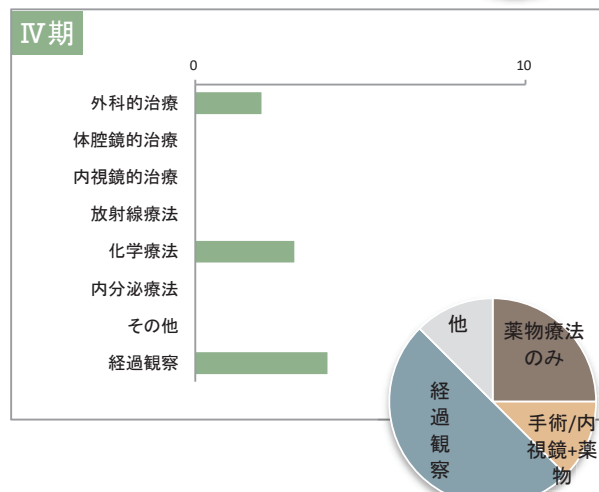
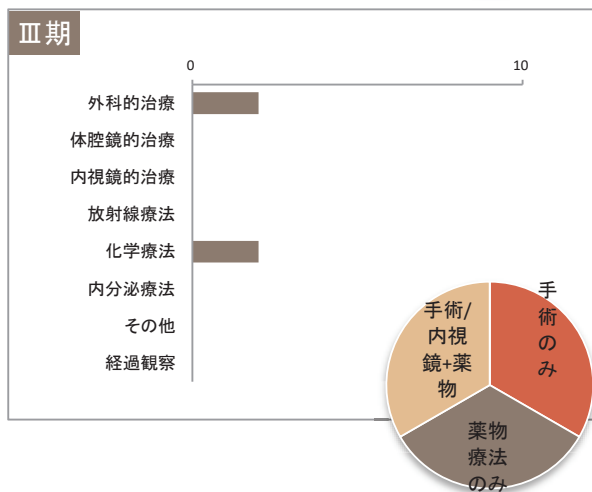
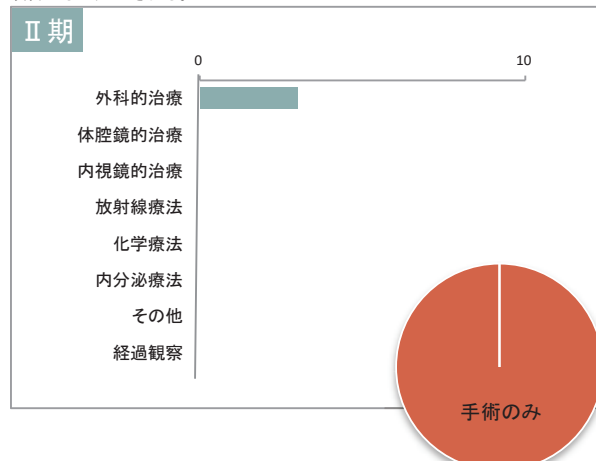
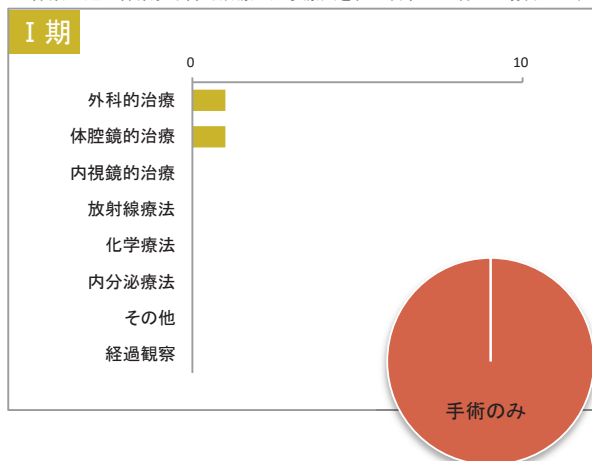
9. UICC TNM 総合ステージ別登録 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数		(1～3)	(1～3)	(1～3)	(7～9)	(1～3)	18
割合		--	--	--	--	--	



10. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

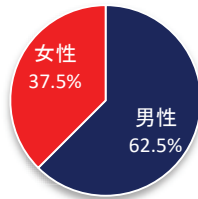
* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせを行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



7-2. 部位別:大腸

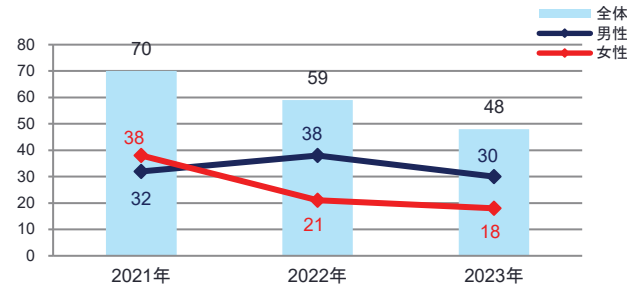
1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	48
男性	30
女性	18

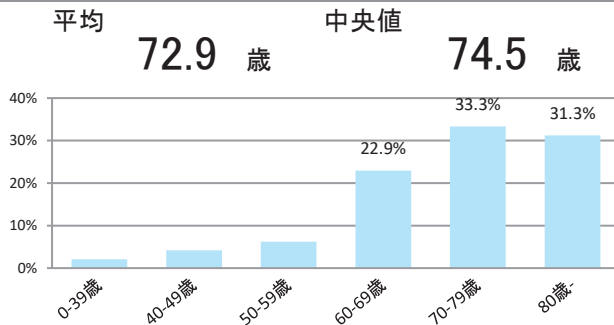


当院全登録数に占める大腸がんの割合 **11.4%**

2. 登録数の年次推移

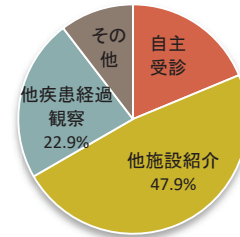


3. 年齢

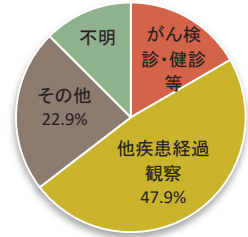


4. 来院経路と発見経緯

来院経路

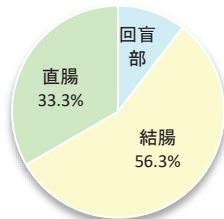


発見経緯

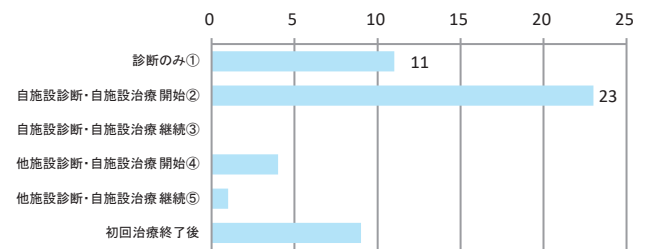


5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数	局在コード	部位名	登録数
C18.0	盲腸	(1~3)	C19.9	直腸S状結腸	(1~3)
C18.1	虫垂	(1~3)	C20.9	直腸	13
C18.2	上行結腸	(4~6)			
C18.3	右結腸曲	(1~3)			
C18.4	横行結腸	(1~3)			
C18.5	左結腸曲	0			
C18.6	下行結腸	(1~3)			
C18.7	S状結腸	13			
C18.8	境界部病巣	0			
C18.9	詳細部位不明	(4~6)			



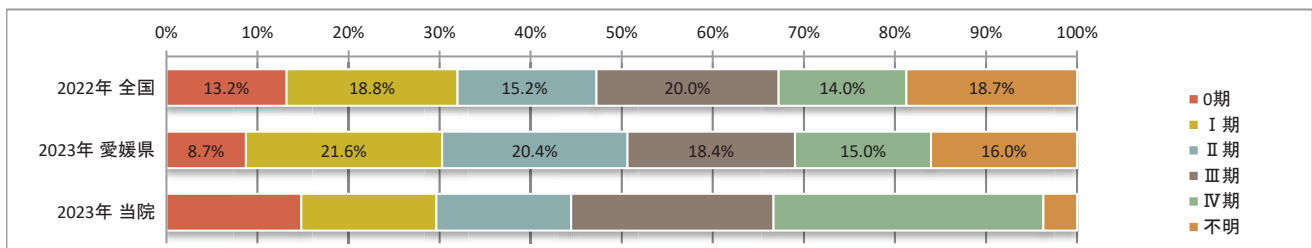
6. 症例区分



	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	28	58.3%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	34	70.8%

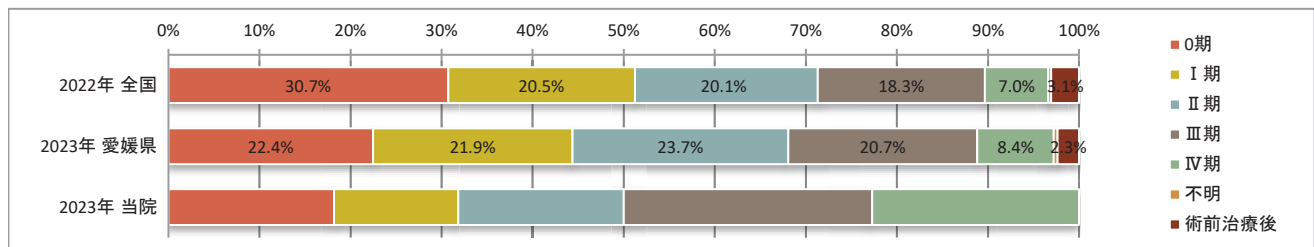
7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	(4~6)	(4~6)	(4~6)	(4~6)	(7~9)	(1~3)	27
割合	--	--	--	--	--	--	--



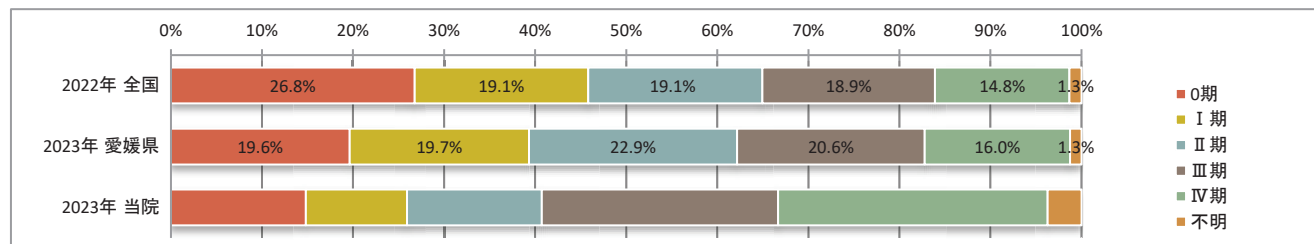
8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	術前治療後
件数	(4~6)	(1~3)	(4~6)	(4~6)	(4~6)	0	0
割合	--	--	--	--	--	--	--
件数	(他)0期	(他)I期	(他)II期	(他)III期	(他)IV期	(他)不明	合計
割合	0	0	0	0	0	0	23



9. UICC TNM 総合ステージ別登録 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	(4～6)	(1～3)	(4～6)	(7～9)	(7～9)	(1～3)	27
割合	--	--	--	--	--	--	



10. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

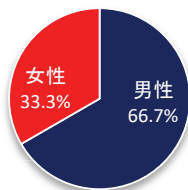
* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせで行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



7-3. 部位別：肝臓

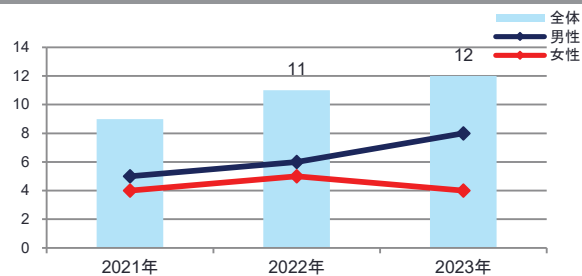
1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	12
男性	(7~9)
女性	(4~6)

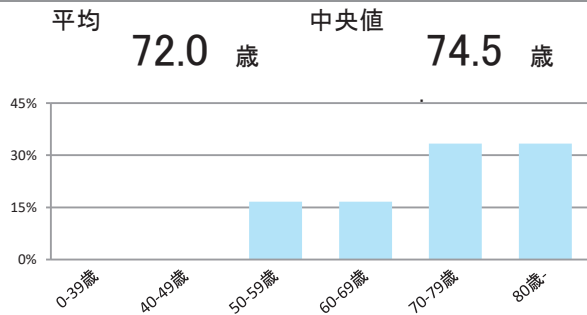


当院全登録数に占める肝臓がんの割合 **2.9%**

2. 登録数の年次推移

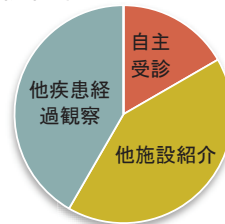


3. 年齢

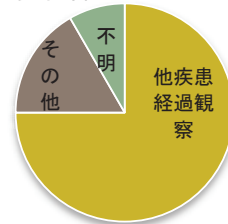


4. 来院経路と発見経緯

来院経路



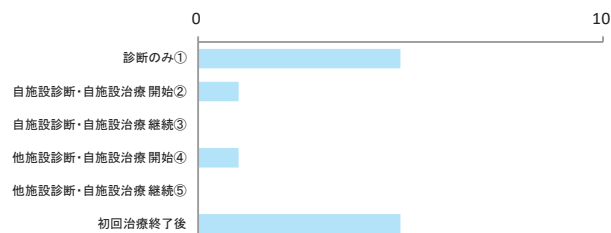
発見経緯



5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数
C220	肝	11
C221	肝内胆管	(1~3)

6. 症例区分



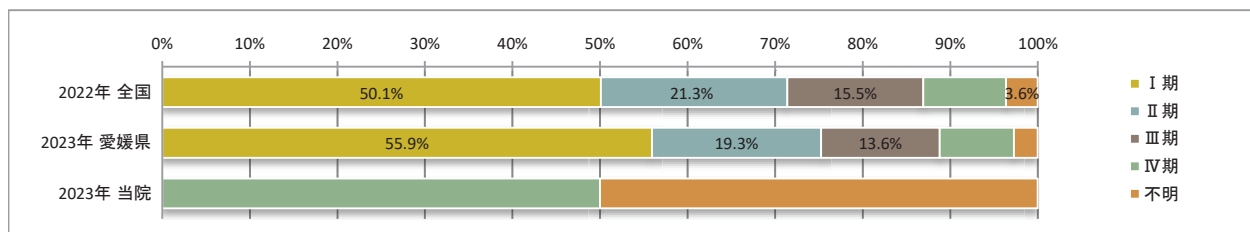
	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	(1~3)	16.7%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	(4~6)	50.0%

7. 病期分類対象の癌腫別登録数

局在コード	組織分類	登録数
C220	肝細胞癌	10
C221	肝内胆管癌	(1~3)

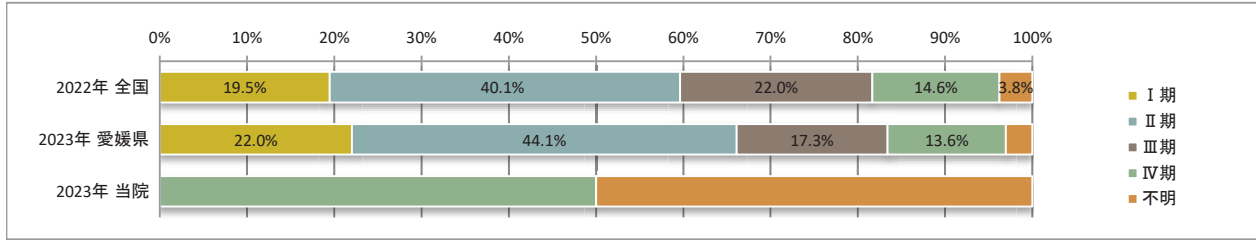
8. UICC TNM 肝細胞癌の治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数		0	0	0	(1~3)	(1~3)	(1~3)
割合		--	--	--	--	--	--



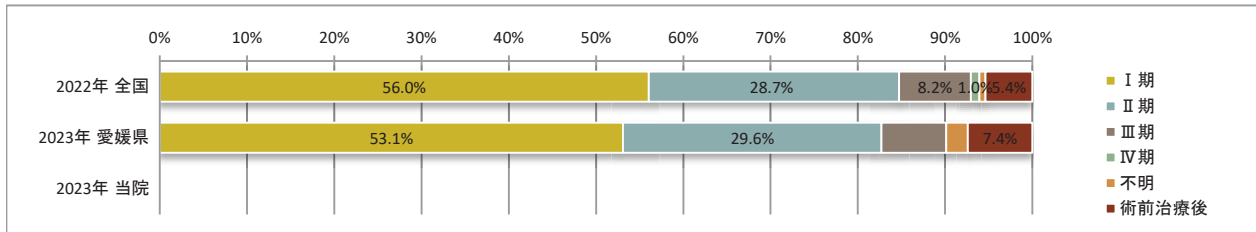
9. 取扱い規約 肝細胞癌の治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(初回治療実施症例)、病期分類対象のみ>

2023年	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	0	0	0	(1~3)	(1~3)	(1~3)
割合	--	--	--	--	--	--



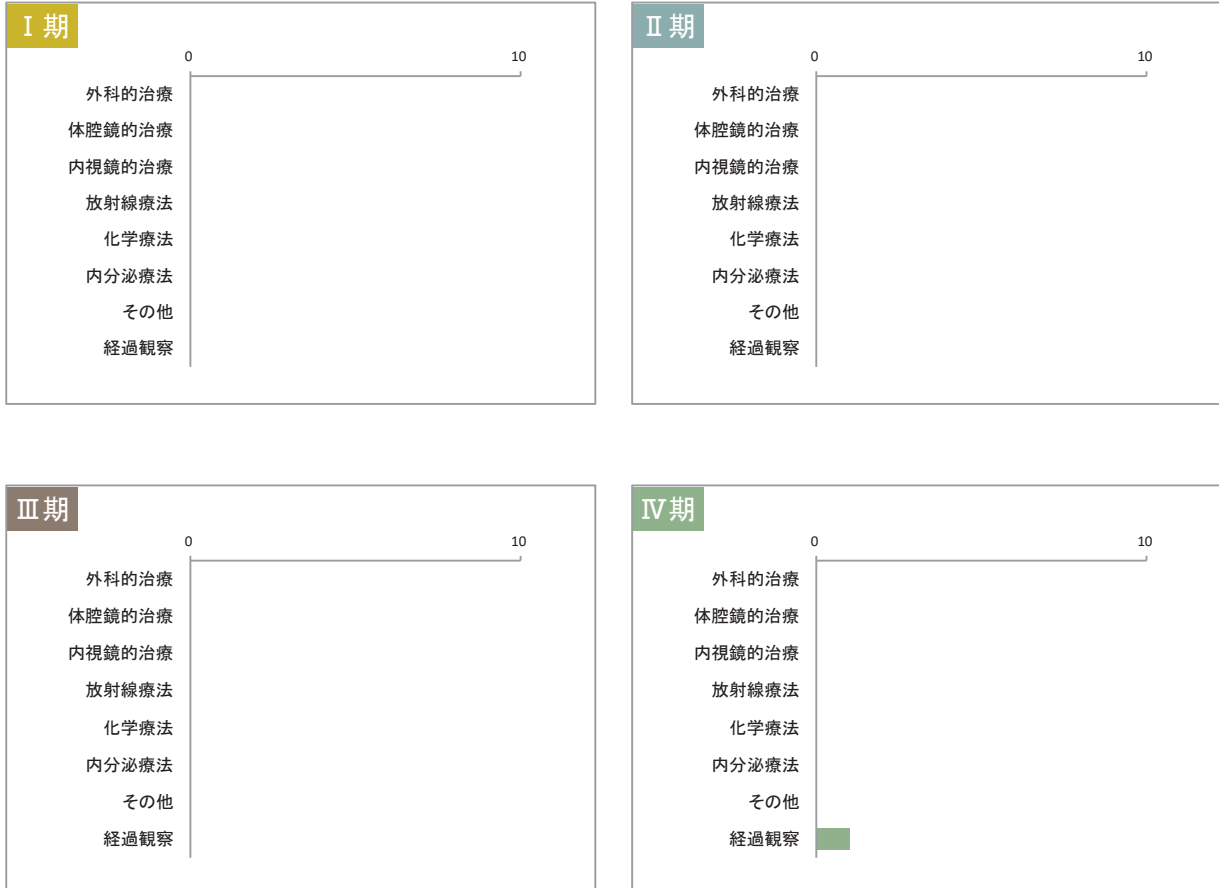
10. UICC TNM 肝細胞癌の術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	I 期	II 期	III 期	IV 期	不明	術前治療後
件数	0	0	0	0	0	0
割合	--	--	--	--	--	--
件数	(他) I 期	(他) II 期	(他) III 期	(他) IV 期	(他) 不明	合計
割合	0	0	0	0	0	0
	--	--	--	--	--	



11. 取扱い規約 肝細胞癌の治療前ステージ別 治療の件数 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

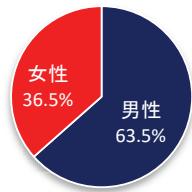
* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせを行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



7-4. 部位別:肺

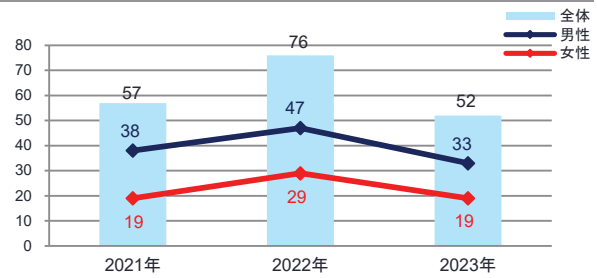
1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	52
男性	33
女性	19

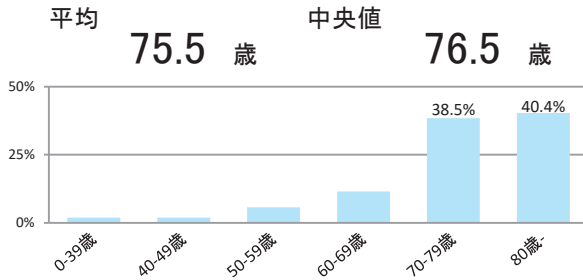


当院全登録数に占める肺がんの割合 **12.4%**

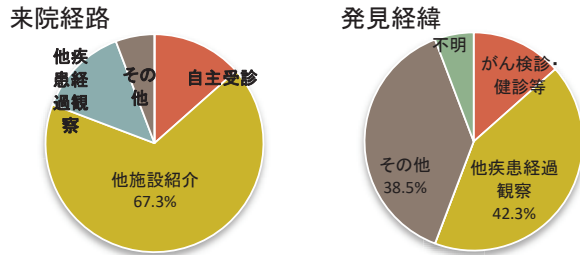
2. 登録数の年次推移



3. 年齢

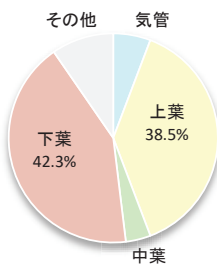


4. 来院経路と発見経緯

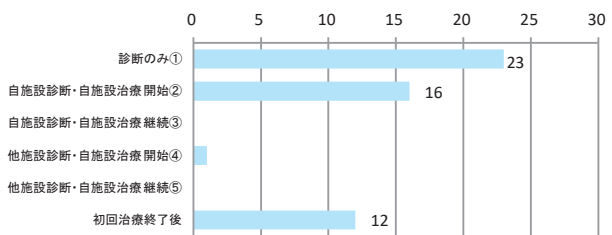


5. 詳細部位別登録数

局在コード	部 位 名	登録数
C339	気管	0
C340	主気管支	(1~3)
C341	上葉・肺尖部	20
C342	中葉	(1~3)
C343	下葉	22
C348	肺の境界部病巣	0
C349	肺NOS	(4~6)



6. 症例区分



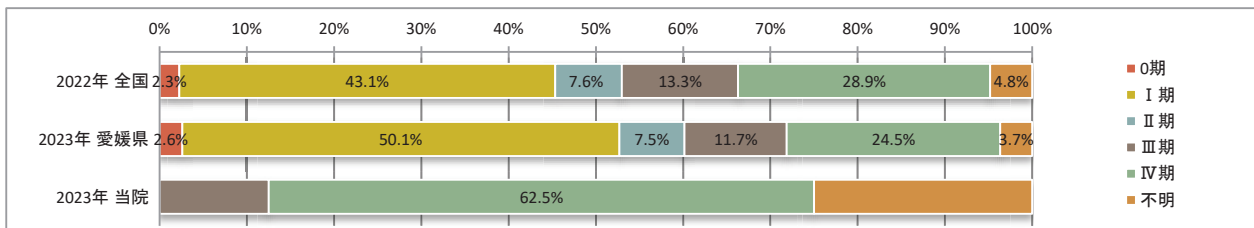
	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	17	32.7%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	39	75.0%

7. 病期分類対象の癌腫別登録数

組 織 分 類	登録数
非小細胞癌	49
小細胞癌	(1~3)

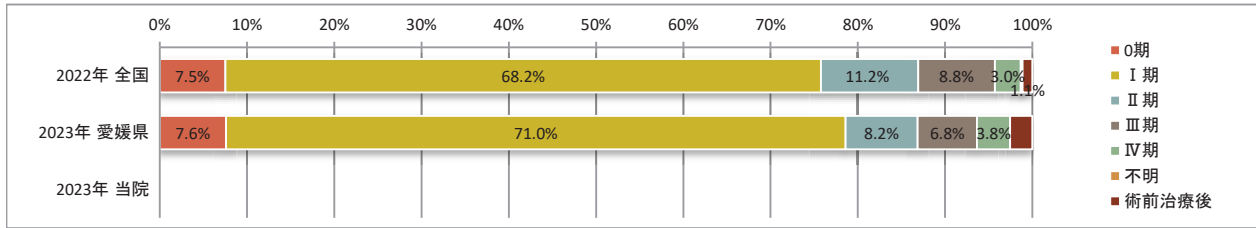
8. UICC TNM 非小細胞癌の治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	0	0	0	(1~3)	10	(4~6)	16
割合	--	--	--	--	62.5%	--	--



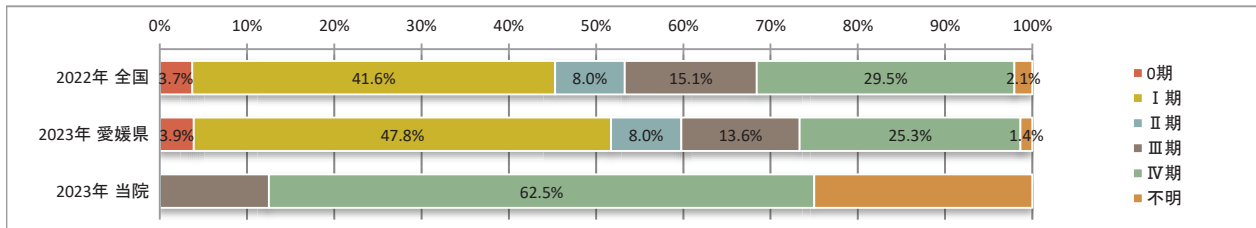
9. UICC TNM 非小細胞癌の術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	術前治療後
件数	0	0	0	0	0	0	0
割合	--	--	--	--	--	--	--
件数	(他)0期	(他)I期	(他)II期	(他)III期	(他)IV期	(他)不明	合計
割合	0	0	0	0	0	0	0



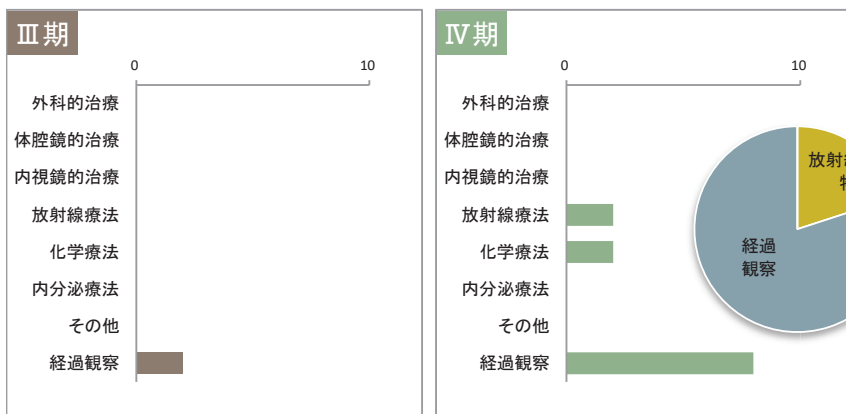
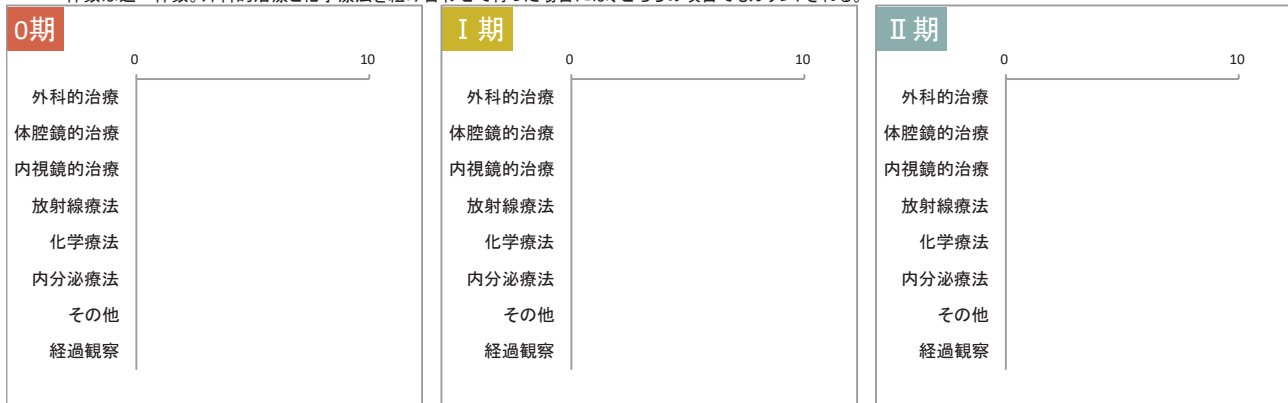
10. UICC TNM 非小細胞癌の総合ステージ別登録 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	0	0	0	(1～3)	10	(4～6)	16
割合	--	--	--	--	62.5%	--	



11. UICC TNM 非小細胞癌の総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

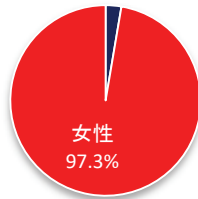
* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせで行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



7-5. 部位別：乳房

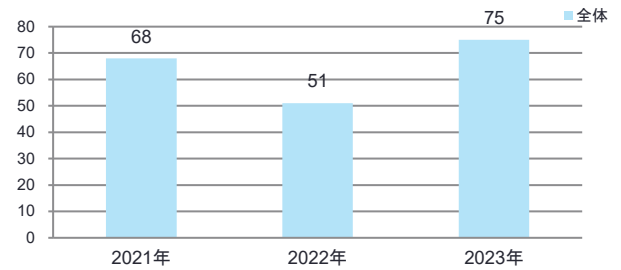
1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	75
男性	(1~3)
女性	73

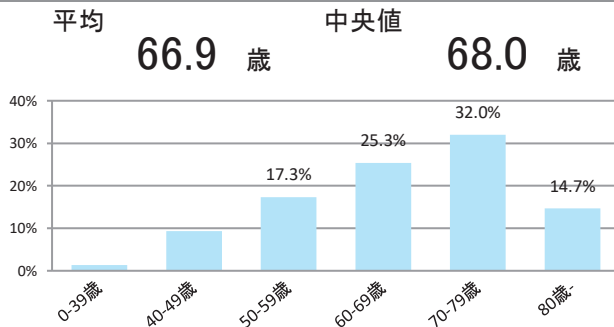


当院全登録数に占める乳がんの割合 **17.8%**

2. 登録数の年次推移

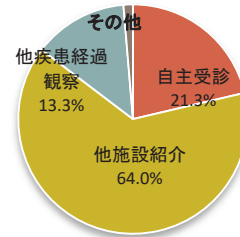


3. 年齢

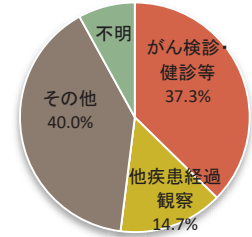


4. 来院経路と発見経緯

来院経路

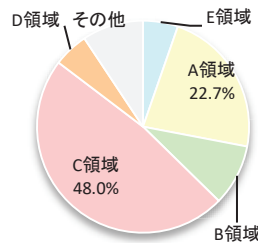


発見経緯

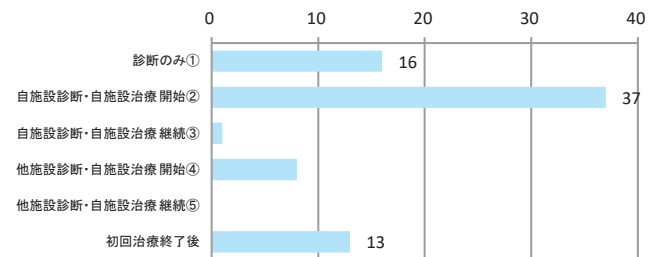


5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数
C500	E'(乳頭部)領域	0
C501	E(乳輪部)領域	(4~6)
C502	A領域	17
C503	B領域	(7~9)
C504	C領域	36
C505	D領域	(4~6)
C506	C'領域	0
C508	境界部病巣	0
C509	乳房NOS	(7~9)



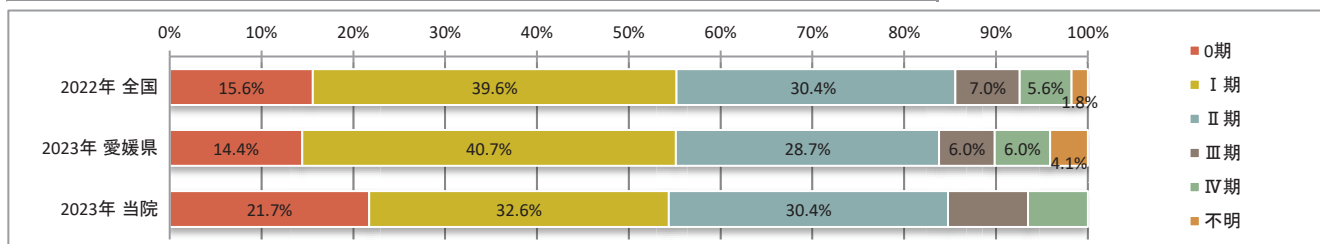
6. 症例区分



	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	46	61.3%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	54	72.0%

7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

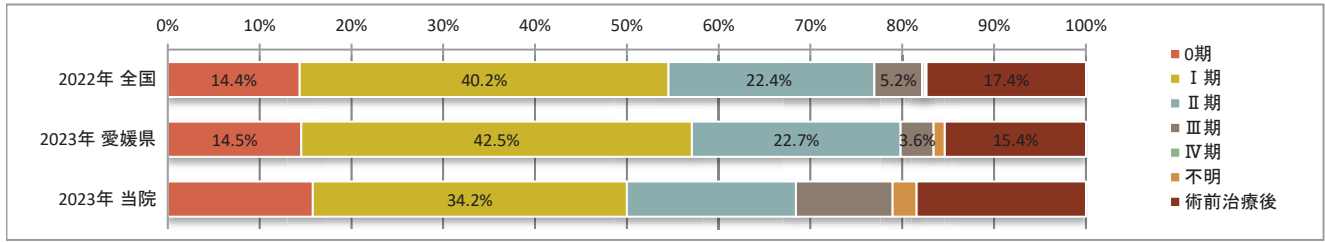
2023年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	10	15	14	(4~6)	(1~3)	0	46
割合	21.7%	32.6%	30.4%	--	--	--	



8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

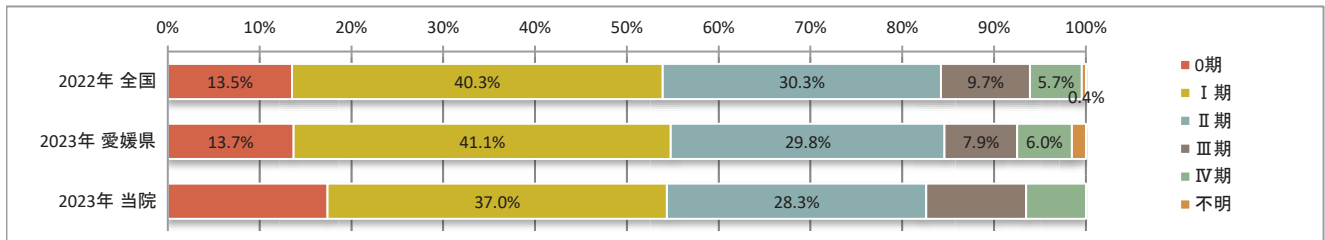
2023年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	術前治療後
件数	(4~6)	13	(7~9)	(4~6)	0	(1~3)	(7~9)
割合	--	34.2%	--	--	--	--	--

	(他)0期	(他)I期	(他)II期	(他)III期	(他)IV期	(他)不明	合計
件数	0	0	0	0	0	0	38
割合	--	--	--	--	--	--	



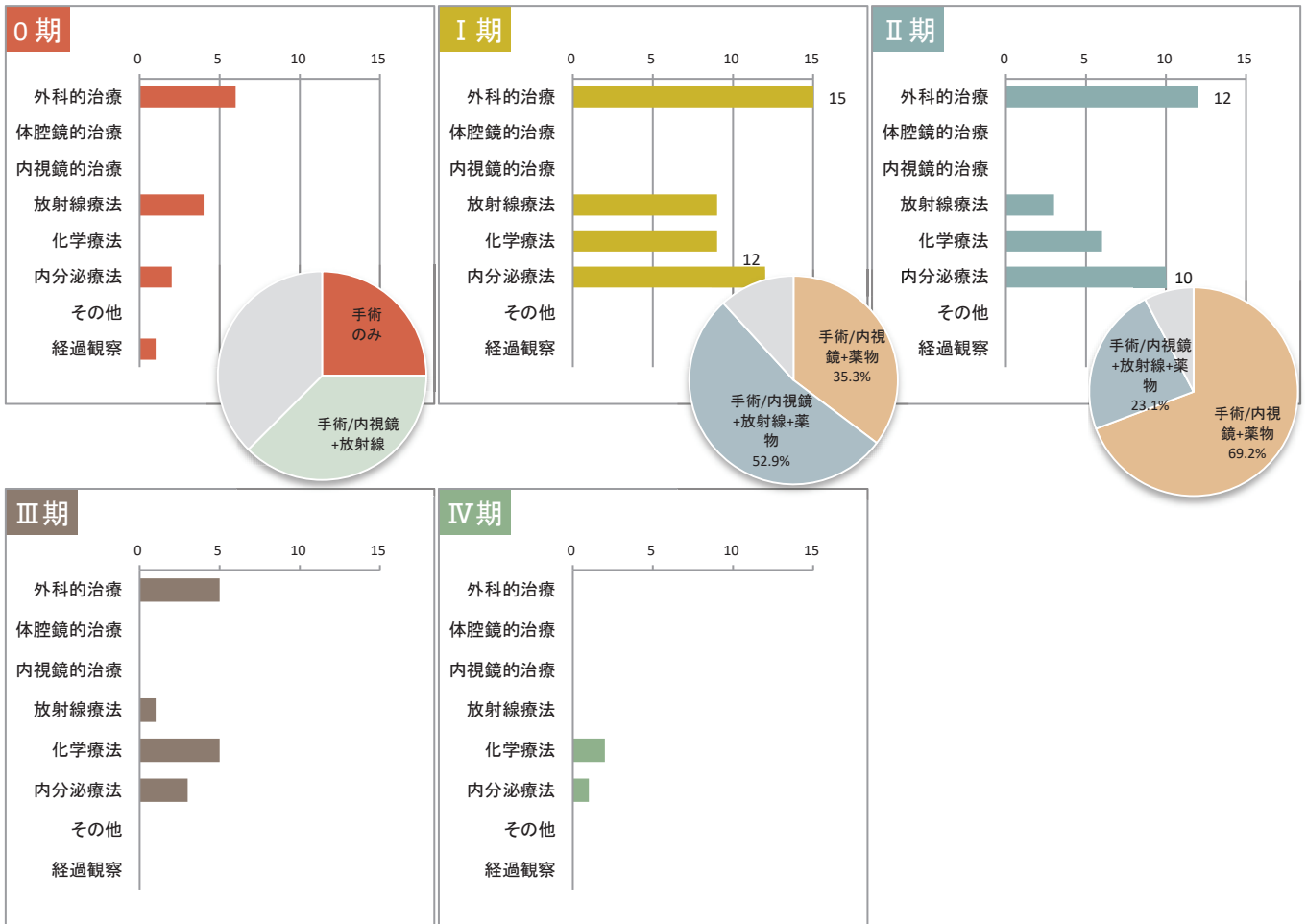
9. UICC TNM 総合ステージ別登録 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	0期	I 期	II 期	III 期	IV 期	不明	合計
件数	(7～9)	17	13	(4～6)	(1～3)	0	46
割合	--	37.0%	28.3%	--	--	--	



10. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせで行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



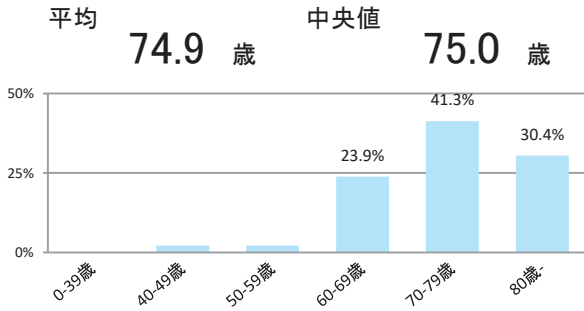
7-6. 部位別：前立腺

1. 登録数と男女割合

	登録数
全体	46

当院全登録数に占める前立腺がんの割合 **10.9%**

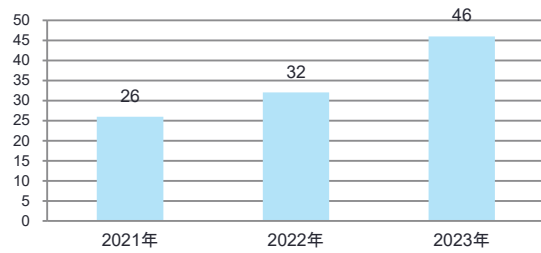
3. 年齢



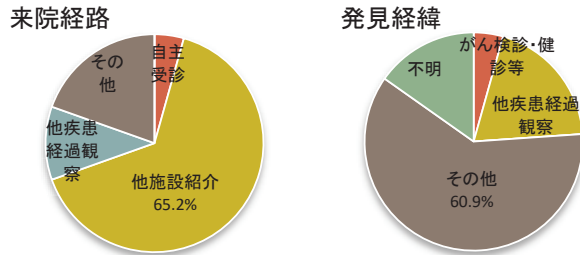
5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数
C61.9	前立腺	46

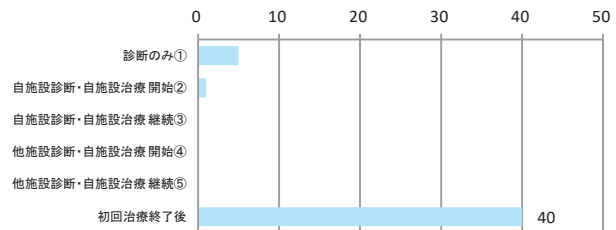
2. 登録数の年次推移



4. 来院経路と発見経緯



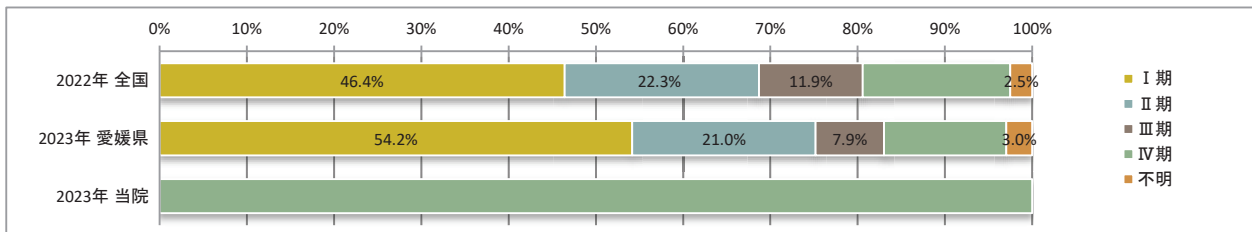
6. 症例区分



	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	(1~3)	2.2%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	(4~6)	13.0%

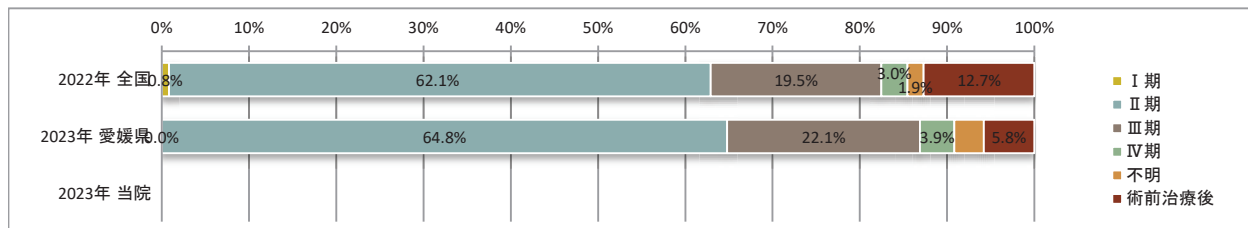
7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	I 期	II 期	III 期	IV 期	不明	合計
件数	0	0	0	(1~3)	0	(1~3)
割合	--	--	--	--	--	--



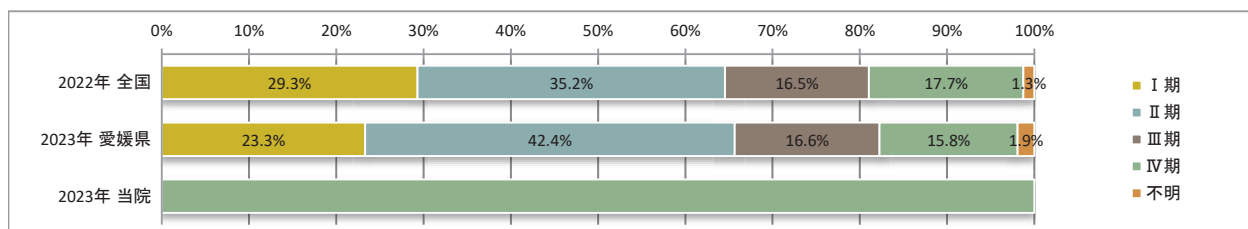
8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	I 期	II 期	III 期	IV 期	不明	術前治療後
件数	0	0	0	0	0	0
割合	--	--	--	--	--	--
	(他) I 期	(他) II 期	(他) III 期	(他) IV 期	(他) 不明	合計
件数	0	0	0	0	0	0
割合	--	--	--	--	--	--



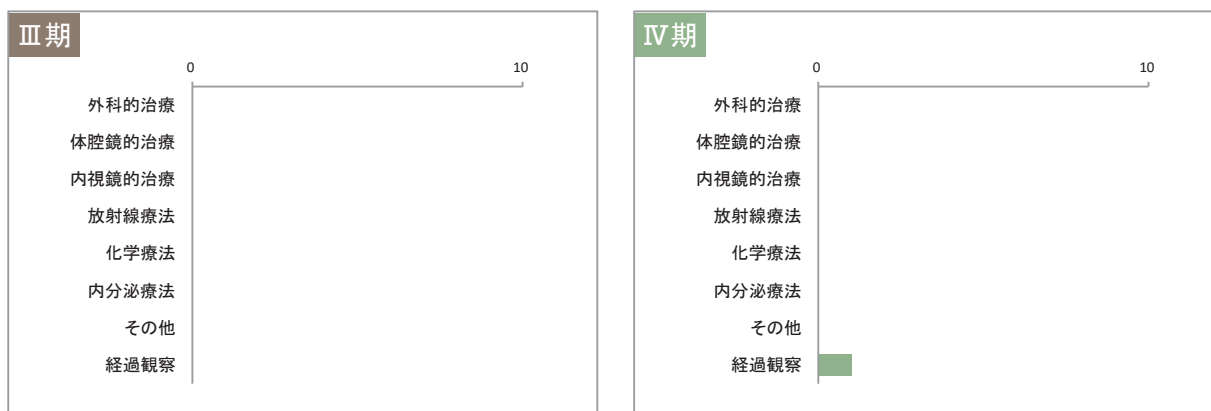
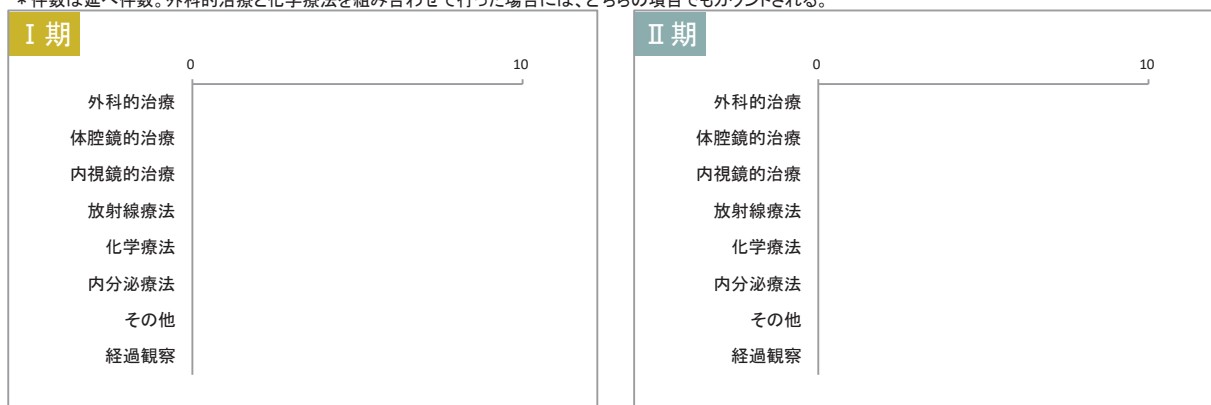
9. UICC TNM 総合ステージ別登録 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	I 期	II 期	III 期	IV 期	不明	合計
件数	0	0	0	(1～3)	0	(1～3)
割合	--	--	--	--	--	--



10. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせで行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



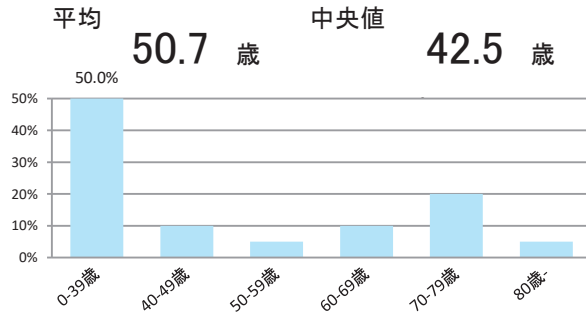
7-7. 部位別：子宮頸部

1. 登録数と男女割合

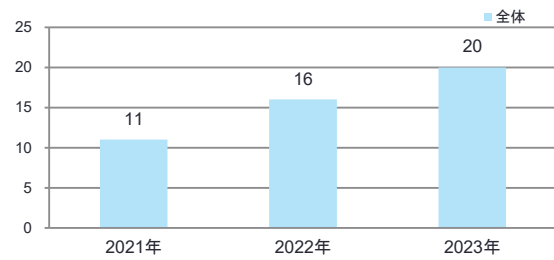
登録数	
全体	20

当院全登録数に占める子宮頸がんの割合 **4.8%**

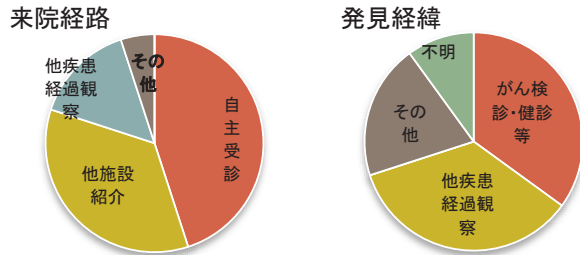
3. 年齢



2. 登録数の年次推移



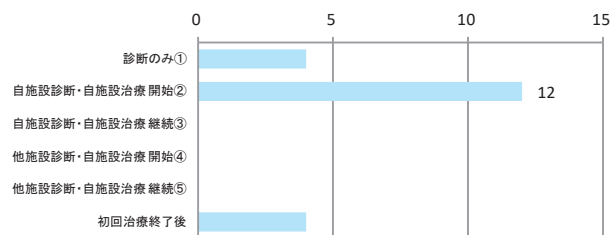
4. 来院経路と発見経緯



5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数
C530	内頸部	(1~3)
C531	外頸部	0
C538	頸部境界部	0
C539	頸部詳細不明	19

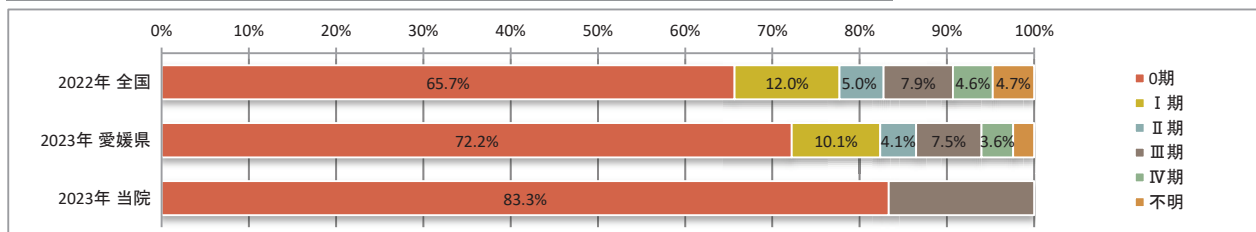
6. 症例区分



	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	12	60.0%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	16	80.0%

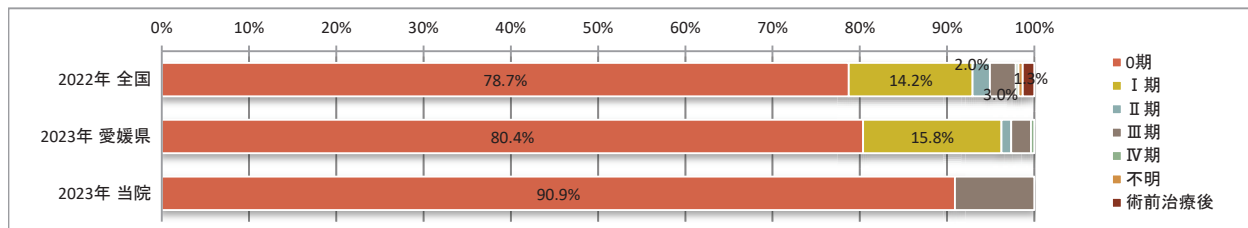
7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	10	0	0	(1~3)	0	0	12
割合	83.3%	--	--	--	--	--	--



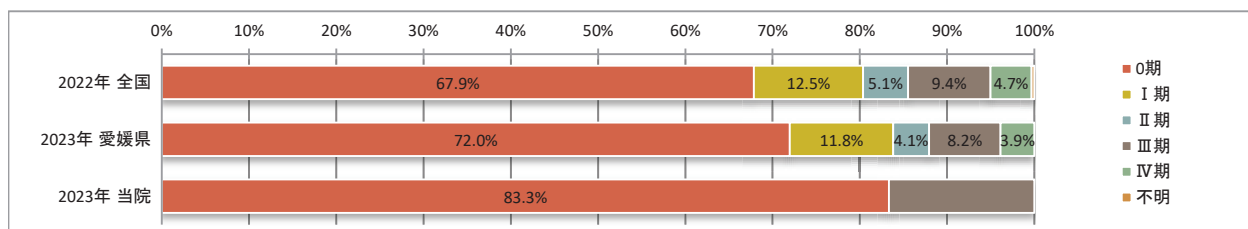
8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	術前治療後
件数	10	0	0	(1~3)	0	0	0
割合	90.9%	--	--	--	--	--	--
	(他)0期	(他)I期	(他)II期	(他)III期	(他)IV期	(他)不明	合計
件数	0	0	0	0	0	0	11
割合	--	--	--	--	--	--	--



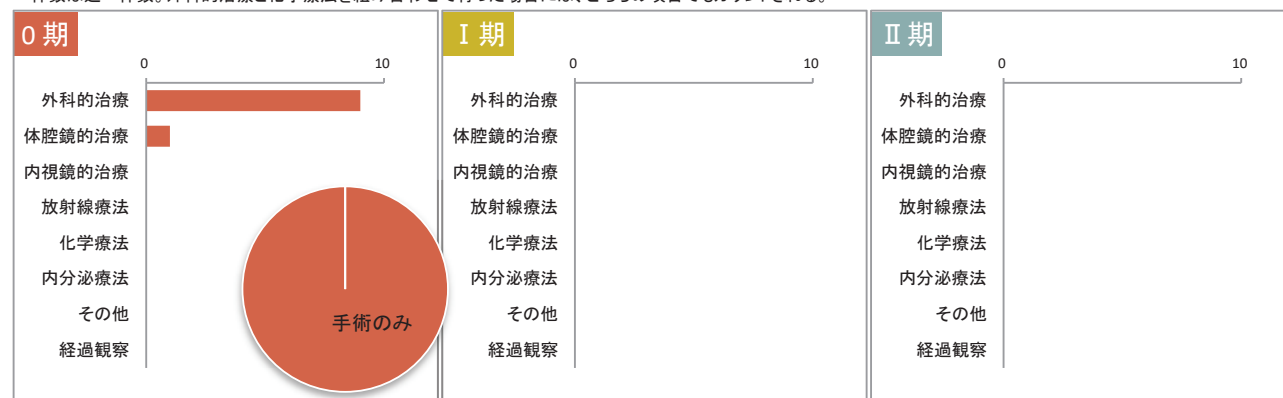
9. UICC TNM 総合ステージ別登録 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2023年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	10	0	0	(1～3)	0	0	12
割合	83.3%	--	--	--	--	--	



10. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

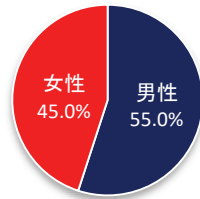
* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせで行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



7-9. 部位別:血液腫瘍

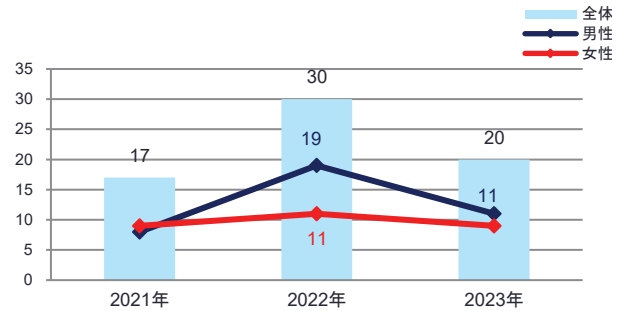
1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	20
男性	11
女性	(7~9)



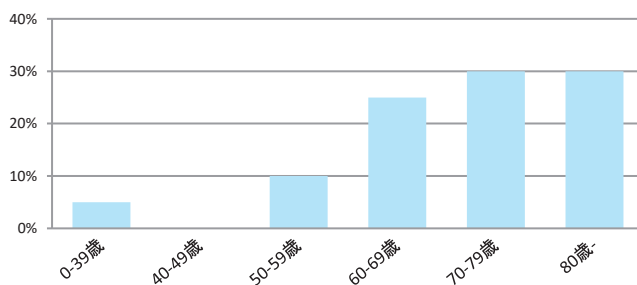
当院全登録数に占める血液腫瘍の割合 **4.8%**

2. 登録数の年次推移



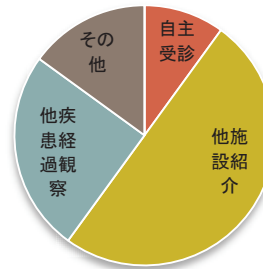
3. 年齢

平均 **71.6 歳** 中央値 **74.5 歳**

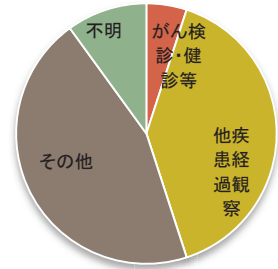


4. 来院経路と発見経緯

来院経路

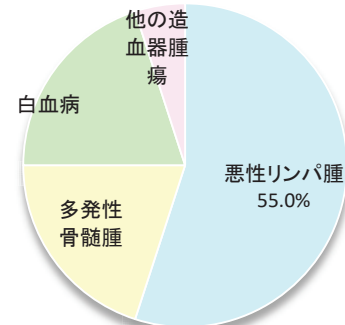


発見経緯



5. 分類別登録数

	2021年	2022年	2023年
悪性リンパ腫	11	17	11
多発性骨髄腫	(1~3)	(1~3)	(4~6)
白血病	(1~3)	(4~6)	(4~6)
他の造血器腫瘍	(1~3)	(4~6)	(1~3)

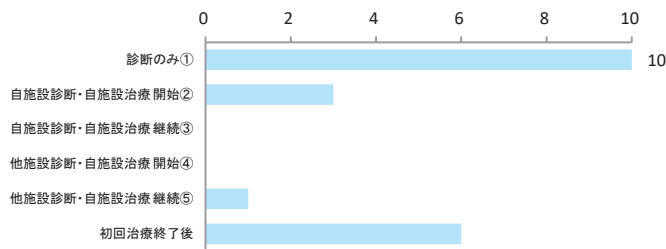


2023年分類別登録の割合

6. 詳細組織形態別登録数(WHO2017)

WHO2017に基づく分類		2021年	2022年	2023年
骨髄系腫瘍	骨髄増殖性疾患、肥満細胞症	(1~3)	0	0
	骨髄異形成・骨髄増殖性腫瘍・骨髄異形成症候群	(1~3)	(4~6)	(1~3)
	急性骨髄性白血病及び関連前駆細胞腫瘍	(1~3)	(1~3)	(1~3)
	分化系統不明瞭な急性白血病	(1~3)	0	0
	その他骨髄系腫瘍	0	(1~3)	0
リンパ系腫瘍	前駆型リンパ球系腫瘍	0	(1~3)	0
	成熟B細胞腫瘍	(4~6)	(7~9)	(4~6)
	形質細胞腫瘍	(1~3)	(1~3)	(4~6)
	成熟T細胞およびNK細胞腫瘍	(1~3)	(1~3)	(1~3)
	ホジキンリンパ腫	0	0	(1~3)
	その他リンパ系腫瘍	(4~6)	(7~9)	(1~3)
組織球及び樹状細胞腫瘍		0	0	0
その他(上記で分類できないもの)		0	(1~3)	(1~3)

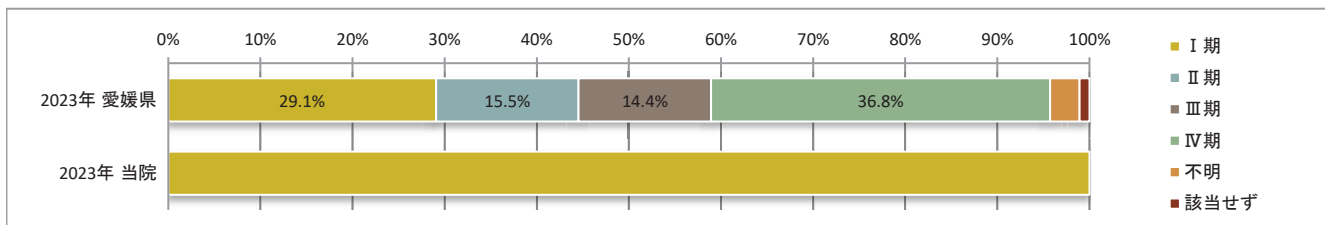
7. 症例区分



	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	(4~6)	20.0%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	13	65.0%

8. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、悪性リンパ腫のみ>

2023年	I 期	II 期	III 期	IV 期	不明	該当せず	合計
件数	(1~3)	0	0	0	0	0	(1~3)
割合	--	--	--	--	--	--	--



9. 治療の件数 <症例区分20~31(自施設責任症例)、自施設で実施した初回治療のみ>

* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせで行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。

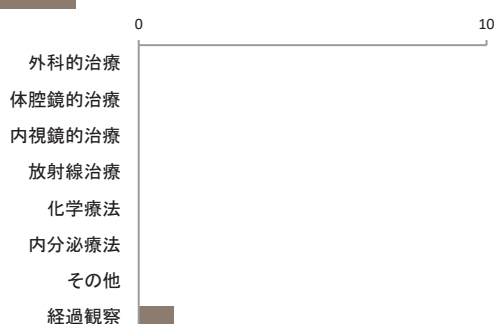
悪性リンパ腫



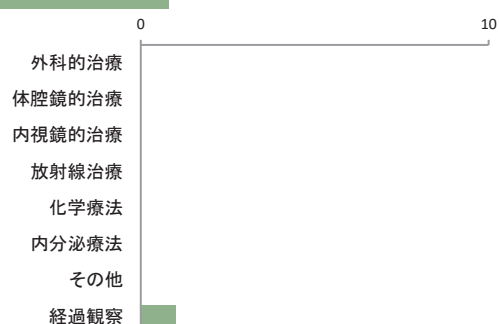
多発性骨髄腫



白血病



他の造血器腫瘍



説明ポイントの解説

説明ポイント①

過去最高の登録件数となった

2021年に初めて400件超えの410件登録を達成し、2022年は419件、2023年は424件と少しずつではあるが、登録件数を伸ばしている。

男女別登録件数では、2021年から男性・女性ともに200件を超えたが、2023年に女性のみ200件を切った。また男女比では、2023年で男性が53.2%であり、2020年の47.7%から逆転している。

説明ポイント②

『部位別登録数』では、乳癌75件が最も多く、次いで昨年最も多かった肺癌が52件となっている。

部位別登録数では乳房75件・肺52件・大腸48件と続き、前立腺と胃が同数で46件となっている。数年前までは大腸や胃の消化器系部位が多数を占めていたが、近年では肺と乳房が消化器系部位より多くなっている状況である。

2023年症例については、これまでで初めて乳房が最多となった。

説明ポイント③

全国・愛媛県と比較して『診断のみ』の割合が高くなっている。

「診断のみ」の症例は、全国7.2%・愛媛県10.3%なのに対し、当院は27.6%と非常に多くなっている。当院では呼吸器内科の医師が充実しており、近隣の施設から、診断目的の紹介が多いのに対して、呼吸器外科の医師が不在であり、診断のみの割合が高くなっているものと思われる。

説明ポイント④

『自施設責任症例』の割合は、愛媛県と比較しておおきく下回っている。

自施設責任症例は、愛媛県が79.7%なのに対し、当院は38.5%とおおきく下回る結果となっている。

部位別の責任症例で見ると、大腸・乳房・子宮頸部は60%前後と半数以上は自院の責任症例であるが、その他部位については、紹介となってしまっている。

説明ポイント⑤

医療圏域別登録件数は、毎年担当の宇摩圏域が 90%程度で推移している。

医療圏域別登録件数は 2021 年：378 件、2022 年：362 件、2023 年：377 件となっており、ここ 3 年で大きな変化は見られない。

また残りの 8~9%が県外となっているのは、当院が徳島県・香川県との県境にあることに併せて、公立学校共済組合の職域病院であり四国地区全域から健診等での利用がある事が要因と思われる。

説明ポイント⑥

『年齢階級別登録数』では、70 歳以上の高齢者が増加している。

年齢階級別の登録数で見ると、70 歳代が前年比で増加している一方、80 歳以上が減少している。割合で見ると、70 歳以上がここ 4 年 40%強で推移しており、大きな変化は見られない。

また、愛媛県及び全国と比較してもやはり 70 歳以上の割合が高くなっており、宇摩圏域の高齢化が進んでいると思われる。

説明ポイント⑦

全国・愛媛県と比較して『自主受診』の割合が高くなっている。

「自主受診」の症例は、全国 7.0%・愛媛県 8.6%なのに対し、当院は 18.8%と非常に高くなっている。一方で当院としては、近年で最も低い数値となっており、呼吸器内科をはじめ、近隣の医療機関等からの紹介が増加しているものと推測される。

説明ポイント⑧

『発見経緯』については、全国や愛媛県との比較で同等程度の割合となっている。

他の項目は、全国・愛媛県との比較で大きな解離が見られる当院のがん登録であるが、『発見経緯』については、他疾患経過観察の割合が、全国：35.1% 愛媛：38.8% 当院 35.9%とほぼ同程度であり、その他項目についてもおおきな開きは見られない。